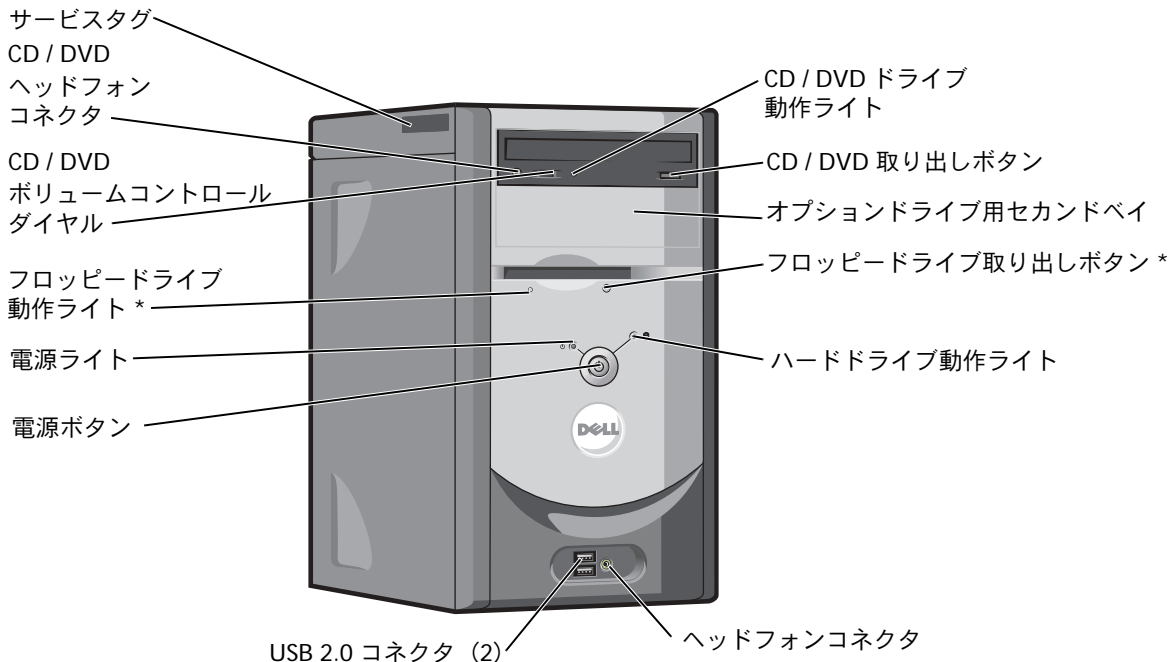
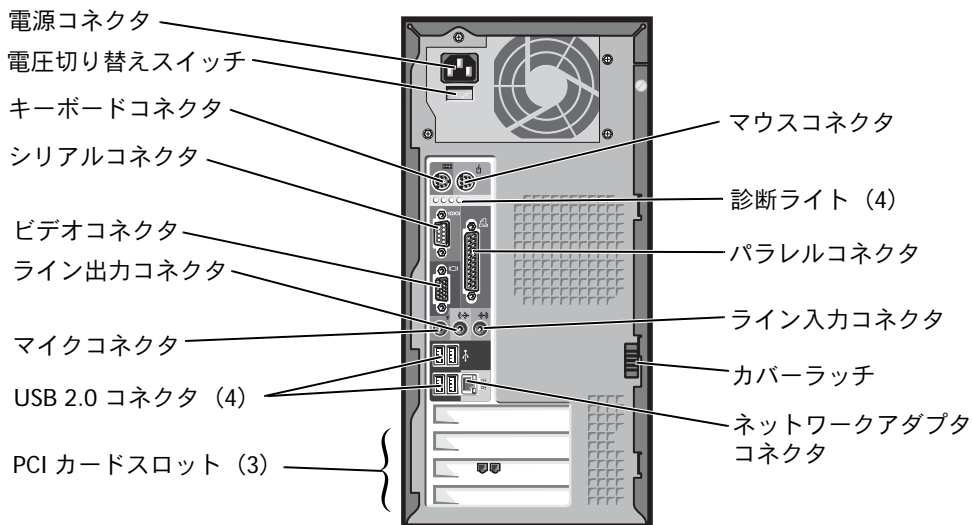


Dell™ Dimension™ 2400 シリーズ



* オプションのフロッピードライブ搭載のコンピュータ用



メモ、注意、警告



メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意：ハードウェアの破損やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語の一覧が、『はじめよう』ヘルプファイルに収録されています。ヘルプファイルにアクセスする手順については、14 ページを参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

このマニュアルの内容は予告なく変更されることがあります。

© 2003 ~ 2004 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. からの書面による許可なしには、いかなる方法においてもこのマニュアルの複写、転載を禁じます。

このマニュアルに使用されている商標：Dell、DELL のロゴ、Inspiron、Dell Precision、Dimension、OptiPlex、Axim、PowerApp、PowerEdge、PowerConnect、PowerVault、および Latitude は、Dell Inc. の商標です。Intel、Pentium、および Celeron は、Intel Corporation の登録商標です。Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

このマニュアルでは、上記以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

モデル MTC2

2004 年 1 月

P/N N4147 Rev. A01

目次

警告：安全にお使いいただくために	9
安全について：一般的な注意事項	9
安全について：コンピュータを使用するとき	10
安全について：コンピュータ内部の作業をするとき	10
安全について：静電気障害への対処	11
安全について：快適な使い方	11
安全について：バッテリーの廃棄	12
コンピュータについて調べる	13
1 コンピュータのセットアップと使い方	
AC アダプタの接続	17
プリンタのセットアップ	18
プリンタケーブル	18
パラレルプリンタを接続する	18
USB プリンタを接続する	20
新しいコンピュータへの情報の転送	21
家庭用および企業用ネットワークのセットアップ	23
ネットワークアダプタの接続	23
ネットワークセットアップウィザード	24
インターネットへ接続する	24
インターネット接続のセットアップ	25
CD および DVD のコピー	26
CD または DVD のコピー方法	26
空の CD-R または空の CD-RW の使い方	27
役に立つヒント	27

ハイパースレディング	28
USB デバイスからの起動	28
コンピュータの電源を切る	29

2 問題の解決

バッテリーの問題	31
ドライブの問題	31
CD および DVD ドライブの問題	32
ハードドライブの問題	33
E メール、モデム、インターネットの問題	33
エラーメッセージ	34
IEEE 1394 デバイスの問題	36
キーボードの問題	36
ロックアップとソフトウェアの問題	37
コンピュータが起動しない場合	37
コンピュータの反応が停止した場合	37
プログラムの反応が停止した場合	37
プログラムが繰り返し壊れる場合	37
以前の Windows オペレーティングシステム用に 設計されているプログラムの場合	38
画面が青一色になった場合	38
その他のソフトウェアの問題	38
メモリの問題	39
マウスの問題	39
ネットワークの問題	40
電源の問題	41

プリンタの問題	42
スキャナーの問題	43
サウンドとスピーカーの問題	44
スピーカーから音がしない場合	44
ヘッドフォンから音がしない場合	45
ビデオとモニターの問題	46
画面に何も表示されない場合	46
画面が見つからない場合	47

3 高度なトラブルシューティング

診断ライト	49
Dell Diagnostics (診断) プログラム	53
Dell Diagnostics (診断) プログラムを使用するとき	53
Dell Diagnostics (診断) プログラムの起動	54
ドライバ	56
ドライバとは?	56
ドライバの確認	57
ドライバの再インストール	57
Microsoft® Windows® XP システムの復元の使い方	59
復元ポイントの作成	59
コンピュータを以前の動作状態に復元する	59
最後のシステムの復元を元に戻す	60
ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決	61
Microsoft® Window® XP の再インストール	62
はじめに	62
Windows XP の再インストール	62

4 部品の拡張および交換

コンピュータの正面および背面	67
正面図	67
背面図	69
コンピュータカバーの取り外し	71
コンピュータの内部	73
システム基板のコンポーネント	74
カードの取り付け	75
フロッピードライブの追加	77
2 台目の CD / DVD ドライブの追加	82
メモリの増設	87
メモリの取り付け	87
メモリの取り外し	89
バッテリーの交換	89
コンピュータカバーの取り付け	91

5 付録

仕様	93
標準設定	97
設定の表示	98
セットアップユーティリティ画面	98
Boot Sequence (起動順序)	98
パスワードを忘れたら	99
デルへのお問い合わせ	101
認可機関の情報	102

デル製品の保証および返品について102

索引 103

警告：安全にお使いいただくために

コンピュータを安全にお使いいただくために、次の注意事項に従い、ご自身の安全を確保して、コンピュータと作業環境を損傷の恐れから守りましょう。

安全について：一般的な注意事項

- 訓練を受けたサービス技術者以外は、ご自身でコンピュータを修理しないでください。取り付け手順には、必ず厳密に従ってください。
- 感電の危険がありますので、コンピュータを使用するときは、コンピュータ本体とデバイスの電源ケーブルを、正しい方法でアースされているコンセントに接続してください。これらの電源ケーブルには、正しくアースするため、三芯プラグが使用されています。アダプタプラグを使用したり、ケーブルからアース用のピンを取り外さないでください。延長ケーブルを使用する必要がある場合、延長ケーブルは三芯プラグのアース用のものを使用してください。
- 感電を防ぐため、雷雨時にはコンピュータを使用しないでください。
- 感電を防ぐため、雷雨時にはケーブルの接続や取り外し、および本製品のメンテナンスや再設定作業をおこなわないでください。
- コンピュータにモデムが搭載されている場合、モデムには、ワイヤサイズが 26 AWG（アメリカ針金ゲージ）以上で FCC に適合した RJ-11 モジュラープラグの付いているケーブルを使用してください。
- コンピュータをクリーニングする場合、あらかじめコンピュータの電源ケーブルをコンセントから抜いてください。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体洗剤やエアソールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。
- システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータの電源を切り 5 秒ほど待ってから、デバイスをコンピュータから取り外します。
- ネットワークケーブルを取り外す際にコンピュータがショートするのを防ぐため、まずお使いのコンピュータ背面にあるネットワークアダプタからケーブルを取り外し、次に、壁のネットワークジャックから取り外します。お使いのコンピュータにネットワークケーブルを接続する場合、まず壁のネットワークジャックにケーブルを接続してから、ネットワークアダプタに接続します。
- 突然の一時的な電力の増減からコンピュータを保護するため、サージサプレッサ、ラインコンディショナ、UPS（無停電電源装置）などを使用してください。
- コンピュータのケーブルの上に物を載せないでください。また、ケーブルは人が踏んだり、つまづいたりしないように配線してください。
- コンピュータの開口部に物を入れないでください。内部の部品がショートして発火や感電の原因になります。
- 暖房器具や熱源の近くにコンピュータを置かないでください。また、通気孔をふさがないようにしてください。コンピュータの下に紙などを敷かないでください。また、押し入れの中や、ベッド、ソファ、カーペットの上にコンピュータを置かないでください。



安全について：コンピュータを使用するとき

コンピュータをお使いになるときは、以下の安全にお取り扱いいただくためのガイドラインに従ってください。

⚠ 警告：コンピュータのカバー（コンピュータ本体のカバー、ベゼル、フィラーブラケット、ドライブベイカバーなど）を取り外したままの状態ではコンピュータを使用しないでください。

- お使いのコンピュータには、次のうちのどれか1つが搭載されています。
 - 固定電圧電源装置 — 固定電圧電源装置が搭載されているコンピュータには、背面パネルに電圧切り替えスイッチが付いていません。また、一定の電圧量でのみ動作します（お使いのコンピュータの動作電圧については、コンピュータの外側に貼付されている規格ラベルを参照してください）。
 - 自動電圧回路 — 自動電圧回路が搭載されているコンピュータには、背面パネルに電圧切り替えスイッチが付いていません。また、正しい動作電圧が自動的に検出されます。
 - 手動電圧切り替えスイッチ — 背面パネルに電圧切り替えスイッチが搭載されているコンピュータでは、正しい動作電圧を手動で設定しなければなりません。ご使用地域の電圧に最も近い値にスイッチを設定してください。



🕒 注意：手動電圧切り替えスイッチが搭載されているコンピュータへの損傷を防ぐため、ご使用地域の AC 電源に最も近い値に電圧切り替えスイッチが設定されていることを確認します。日本で使用できる AC 電源は 100 V ですが、日本でのご使用の際は、電圧切り替えスイッチを 115 V に設定してください。また、モニターやコンピュータに接続しているデバイスもご使用地域の AC 電源で動作するように設定してください。

- コンピュータ内部の作業を始める前に、感電またはシステム基板への損傷を防ぐため、コンピュータの電源ケーブルを取り外します。コンピュータが AC 電源に接続されている場合、システム基板の特定の部品に、常に電力が供給され続けます。

安全について：コンピュータ内部の作業をするとき

コンピュータカバーを開く前に、次の作業を順番通りにおこなってください。

⚠ 警告：お使いのオンラインの Dell™ マニュアル、またはデルより別途提供されたマニュアルで説明されている場合を除き、ご自身でコンピュータを修理しないでください。取り付け手順や作業の手順には厳密に従ってください。

🕒 注意：システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータの電源を切り 5 秒ほど待ってから、システム基板からコンポーネントを取り外したり、コンピュータからデバイスを取り外してください。

- オペレーティングシステムのメニューを使って、正しいコンピュータのシャットダウンをおこないます。
- コンピュータと接続されているすべてのデバイスの電源を切ります。
- コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面にあるカードスロット開口部周辺の金属部分などシャーシの塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がします。

静電気はコンピュータ内部の部品を損傷させる恐れがあるので、手順をおこなう間は定期的にこの作業をおこない、身体の静電気を逃がしてください。

- 4 お使いのコンピュータ、およびモニターを含むデバイスをコンセントから取り外します。また、電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。

これらの手順を踏むことで、感電など身体への危険を防ぐことができます。

さらに、必要に応じて次の点にも注意してください。

- ケーブルを抜くときは、コネクタまたはストレインリリーフの部分を持ち、ケーブル自体を引っ張らないでください。ケーブルによっては、ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを取り外すときは、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを外すときは、コネクタピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続するときは、両方のコネクタがまっすぐに向き合っていることを確認してください。
- 部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カードに接続している部品やカードとの接点には触れないでください。カードを持つときは、縁の部分か金属製の取り付けブラケットを持ってください。マイクロプロセッサチップなどの部品を持つときは、ピンの部分を持たずに、縁の部分を持ってください。



警告： バッテリーの取り付け方を誤ると、バッテリーが破裂する恐れがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのもので交換してください。使用済みのバッテリーは家庭のゴミと一緒に捨てないでください。最寄りの廃棄物処分施設に問い合わせ、バッテリーの処分方法を確認してください。

安全について：静電気障害への対処

静電気はコンピュータ内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、マイクロプロセッサなど、お使いのコンピュータの電子部品に触れる前に、身体の静電気を逃がしてください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を逃がすことができます。コンピュータ内部の作業を続けておこなう場合、定期的にシャーシの塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。

ESD（静電気放出）による損傷を防ぐため、次の手順もお勧めします。

- 部品は、コンピュータに取り付ける直前まで静電気防止梱包材に入れておきます。静電気防止梱包材から取り出す直前に身体の静電気を逃がしてください。
- 静電気に敏感な部品は静電気防止梱包材に入れて運びます。
- 静電気に敏感な部品の取扱いは、静電気のない安全な場所でおこないます。可能であれば、静電気防止用のフロアパッドと作業台パッドを使用してください。

安全について：快適な使い方



警告： 無理な姿勢で長時間キーボードを使用すると、身体に悪影響を及ぼす恐れがあります。



警告： モニター画面を長時間見続けると、眼精疲労の原因となる場合があります。

コンピュータを快適に、効率よく使用するため、コンピュータの設置と使用に関しては、『はじめよう』ヘルプファイルにある、コンピュータを快適に使用するための注意事項を守ってください。ヘルプファイルにアクセスするには、14 ページを参照してください。

安全について：バッテリーの廃棄



お使いのコンピュータにはコイン型リチウムバッテリーが使用されています。コイン型リチウムバッテリーは寿命が長く、交換の必要はほとんどありません。万一取り替えなければならない場合は、89 ページを参照してください。

バッテリーを家庭のゴミと一緒に捨てないでください。最寄りの廃棄物処分施設に問い合わせ、バッテリーの処分方法を確認してください。

コンピュータについて調べる

何をお探しですか？

こちらをご覧ください

- コンピュータの Diagnostics（診断）『ResourceCD』プログラム
- コンピュータのドライバ
- コンピュータのマニュアル
- コンピュータのデバイスのマニュアル



マニュアルとドライバは、出荷時にコンピュータにプリインストールされています。CD を使用して、ドライバを再インストールしたり（57 ページ参照）、Dell Diagnostics（診断）プログラム（53 ページ参照）やマニュアルにアクセスできます。

CD に付属している Readme ファイルは、マニュアルの作成後にシステムに追加された変更や、技術者や専門知識をお持ちのユーザーを対象とするテクニカルリファレンスなどが記載されています。

- プリンタのセットアップ方法
- トラブルシューティングおよび問題の解決
- 部品の拡張および交換
- デルへのお問い合わせ

『オーナーズマニュアル』



何をお探しですか？

こちらをご覧ください

- お使いのコンピュータのセットアップ セットアップ 図



- Windows を使用するための基本情報 『はじめよう』 ヘルプファイル
- お使いのコンピュータをクリーニングする
 - 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- お使いのマウスおよびキーボードの使い方
 - 2 **ユーザズガイド**および**システムガイド** をクリックして、**ユーザズガイド** をクリックします。
 - 3 『はじめよう』 ヘルプファイルをクリックします。

- エクスプレスサービスコードおよびサービスタグ
- エクスプレスサービスコードおよび Product Key (プロダクトキー) ラベル

- Microsoft® Windows® ライセンスラベル




これらのラベルは、お使いのコンピュータに貼付されています。

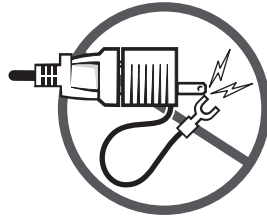
何をお探ですか？	こちらをご覧ください
<ul style="list-style-type: none"> • お使いのコンピュータに対応したドライバ • テクニカルサポートに寄せられる質問への回答 • コンピュータのマニュアル 	<p>デルサポートウェブサイトー support.jp.dell.com</p> <p>デルサポートウェブサイトでは、次のようなオンラインツールを提供しています。</p> <p>技術情報 – トラブル解決ナビ、Q & A、Diagnostics（診断）プログラム、インストールガイド、OS アップグレード情報、システムマニュアル</p> <p>ダウンロード – ファイルライブラリ（ドライバ、ソフトウェアのアップデート）</p> <p>テクニカルサポートへのお問い合わせ – Eメールサポート、電話テクニカルサポート、引き取り修理状況確認</p> <p>各種サービスのご案内 – サービスプラン、登録内容変更情報サービス</p> <p>その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> • Windows XP の使い方 • お使いのコンピュータのマニュアル • お使いのデバイス（モデムなど）のマニュアル 	<p>Windows ヘルプとサポートセンター</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スタート ボタンをクリックして、ヘルプとサポート をクリックします。 2 問題に関連する用語やフレーズを 検索 ボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。 3 表示されているトピックをクリックします。 4 画面の手順に従います。
<ul style="list-style-type: none"> • オペレーティングシステムの再インストール 	<p>『オペレーティングシステム CD』</p> <p>『オペレーティングシステム CD』を使って、オペレーティングシステムを再インストールした後、『ResourceCD』を使ってお使いのコンピュータに付属しているデバイス用のドライバを再インストールします。</p> <p>オペレーティングシステムの Product Key（プロダクトキー）は、コンピュータに記載されています。</p>

コンピュータのセットアップと使い方

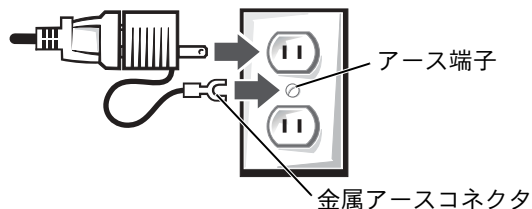
AC アダプタの接続

- 1 AC アダプタを AC 電源ケーブルのプラグに接続します。

 警告：緑色のアース線をコンセントに接続する場合、絶対に緑色のアース線と電源プラグの先端部とを接触させないでください。感電、発火、またはコンピュータが損傷する恐れがあります（以下の図を参照）。




- 2 緑色のアース線をコンセントに接続しない場合は、手順 4 に進みます。
- 3 金属アースコネクタをコンセントのアース端子に接続します（以下の図を参照）。
 - a アース端子のネジを緩めます。
 - b 金属アースコネクタをアース端子の後ろ側に挿入し、アース端子のネジを締めます。



- 4 AC 電源ケーブルをコンセントに接続します。

プリンタのセットアップ

 注意：オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続してください。

以下の手順を含むプリンタのセットアップ情報については、プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。


- アップデートドライバの入手とインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 給紙、およびトナーまたはインクカートリッジの取り付け
- プリンタの製造元へ連絡してテクニカルサポートを受ける

プリンタケーブル

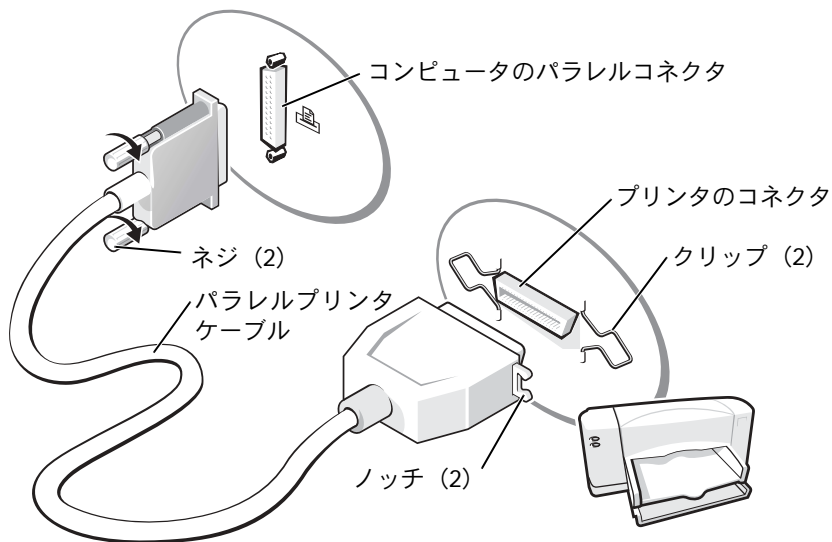
USB ケーブルまたはパラレルケーブルのいずれかを使って、プリンタをコンピュータに接続します。プリンタにはプリンタケーブルが付属していない場合があります。コンピュータと一緒にプリンタケーブルを購入された場合、ケーブルはコンピュータの箱に同梱されています。

パラレルプリンタを接続する

- 1 オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合、セットアップを完了します。
- 2 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします（29 ページ参照）。


 注意：長さ 3 m 以下のパラレルケーブルが最適です。

- 3 平行プリンタケーブルをコンピュータの平行コネクタに取り付け、2つのネジをしっかりと締めます。ケーブルをプリンタのコネクタに接続して、2つのクリップをノッチにはめます。

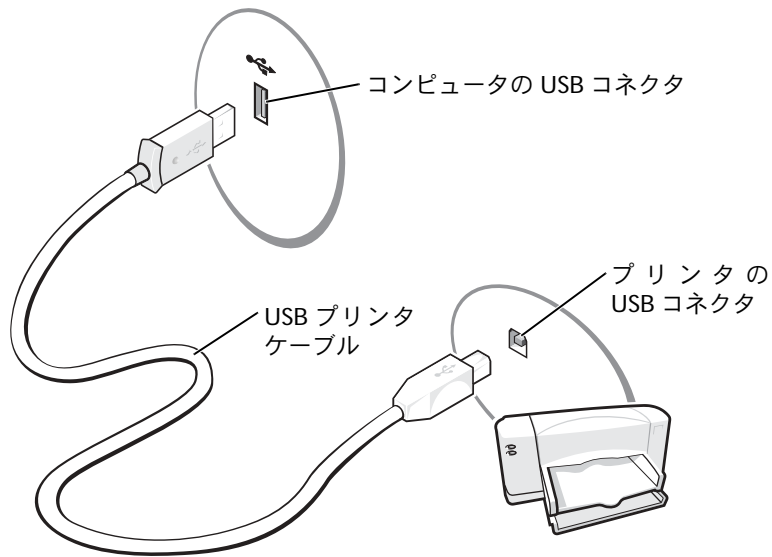


- 4 プリンタの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。**新しいハードウェアの検出ウィザード** ウィンドウが表示されたら、**キャンセル** をクリックします。
- 5 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。

USB プリンタを接続する

 **メモ**：USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態のときも、接続することができます。

- 1 オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合、セットアップを完了します。
- 2 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。
- 3 USB プリンタケーブルをコンピュータとプリンタの USB コネクタに差し込みます。USB コネクタは一方向にしか差し込めません。



新しいコンピュータへの情報の転送

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、データを元の（古い）コンピュータから新しいコンピュータに転送する **ファイルと設定の転送ウィザード** があります。以下のデータが転送できます。

- Eメール
- ツールバーの設定
- ウィンドウのサイズ
- インターネットのブックマーク

ネットワークまたはシリアル接続を介してデータを新しいコンピュータに転送したり、書き込み可能なCDまたはフロッピーディスクなどのリムーバブルメディアにデータを保存することができます。

新しいコンピュータに情報を転送するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → システムツール** の順にポイントして、**ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックします。
- 2 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 **これはどちらのコンピュータですか？**画面で、**転送先の新しいコンピュータ** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 4 **Windows XP CD がありますか？**画面で、**Windows XP CD からウィザードを使います** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 5 **今、古いコンピュータに行ってください** 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに行きます。このときに、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには、次の手順を実行します。

- 1 古いコンピュータに Windows XP の『オペレーティングシステム CD』を挿入します。
- 2 Microsoft Windows XP 画面で、**追加のタスクを実行する** をクリックします。
- 3 **実行する操作の選択** 画面が表示されたら、**ファイルと設定を転送する** をクリックします。
- 4 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。

- 5 **これはどちらのコンピュータですか？** 画面で、**転送元の古いコンピュータ** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 6 **転送方法を選択してください** 画面で、希望の転送方法をクリックします。
- 7 **何を転送しますか？** 画面で、転送するアイテムをクリックして、**次へ** をクリックします。
情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています…** 画面が表示されます。
- 8 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには、次の手順を実行します。

- 1 **新しいコンピュータの今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 2 **ファイルと設定はどこにありますか？** 画面で、設定とファイルを転送する方法を選んで、**次へ** をクリックします。
ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。
設定とファイルがすべて適用されると、**ファイルと設定の転送ウィザードの完了** 画面が表示されます。
- 3 **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

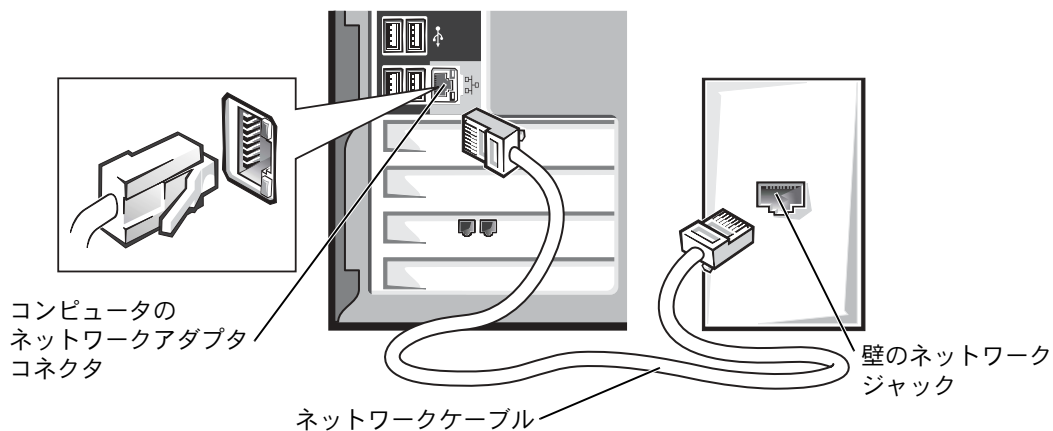
家庭用および企業用ネットワークのセットアップ

ネットワークアダプタの接続

コンピュータをネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていて、ネットワークケーブルが接続されている必要があります。


ネットワークケーブルを接続するには、次の手順を実行します。

- **メモ**：ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引っ張り、ケーブルの接続を確認します。
- 1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。
- **メモ**：ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。
- 2 ネットワークケーブルのもう片方の端を壁のネットワークジャックなどのネットワーク接続デバイスに接続します。




ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → 通信** の順にポイントして、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
 - 2 **ネットワークセットアップウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
 - 3 **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックします。
-  **メモ**：[インターネットに直接接続している] という接続方法を選択すると、Windows XP に設置されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。
- 4 チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
 - 5 **ネットワークセットアップウィザード** に戻り、画面の指示に従います。

インターネットへ接続する

 **メモ**：ISP および ISP が提供するオプションは、国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および AOL や MSN などの ISP（インターネットサービスプロバイダ）が必要です。ISP は、1 つまたは複数の以下のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- ケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合、インターネット接続をセットアップする前に、電話線をコンピュータのモデムコネクタおよび電話ジャックに接続します。DSL またはケーブルモデム接続をお使いの場合、セットアップ手順についてはご利用の ISP にお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

AOL または MSN 接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 Microsoft® Windows® デスクトップにある **MSN Explorer** または **AOL** アイコンをダブルクリックします。
- 3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに **MSN Explorer** または **AOL** アイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップしたい場合は、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。

新しい接続ウィザード が表示されます。

- 3 **インターネットに接続する** をクリックします。
- 4 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。
 - ISP と契約しておらず、その 1 つを選びたい場合、**インターネットサービスプロバイダ (ISP) の一覧から選択する** をクリックします。
 - お客様の ISP からセットアップ情報を入手済みであり、セットアップ CD をお持ちでない場合、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
 - CD をお持ちの場合、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。

接続を手動でセットアップする を選んだ場合、手順 6 に進みます。それ以外の場合、画面の指示に従ってセットアップを完了します。




メモ：どの種類の接続を選択していいかわからない場合、ご利用の ISP にお問い合わせください。

- 6 **インターネットにどう接続しますか？** で該当するオプションをクリックしてから、**次へ** をクリックします。
- 7 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。


インターネットにうまく接続できない場合、33 ページの「E メール、モデム、インターネットの問題」を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみます。


CD および DVD のコピー

 **メモ**：CD または DVD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。この項は、CD-R、CD-RW、DVD+RW、DVD+R、または DVD/CD-RW コンボドライブが搭載されているコンピュータのみに適用されます。

以下の手順では、CD または DVD の正確なコピーを作成する方法について説明します。Sonic RecordNow を使用して、コンピュータのオーディオファイルから CD を作成したり、MP3 CD を作成することもできます。手順については、コンピュータに付属している Sonic RecordNow のマニュアルを参照してください。Sonic RecordNow を開き、ウィンドウの左上角にある疑問符 (?) アイコンをクリックして、**RecordNow のヘルプ** または **RecordNow チュートリアル** をクリックします。

CD または DVD のコピー方法

 **メモ**：DVD / CD-RW コンボドライブをお持ちで、記録中に問題が発生する場合、Sonic サポートウェブサイト sonicjapan.co.jp にアクセスして、利用できるソフトウェアパッチがあるか確認してください。

 **メモ**：市販の DVD のほとんどは、著作権を保護されているので、Sonic RecordNow を使用してコピーすることはできません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**すべてのプログラム → Sonic → RecordNow! → RecordNow!** とポイントします。
- 2 コピーする CD の種類に応じて、オーディオタブまたはデータタブをクリックします。
- 3 **バックアップ** をクリックします。
- 4 CD または DVD をコピーするには、次の手順を実行します。
 - CD または DVD ドライブが 1 つある場合、設定が正しいか確認して、**バックアップ** をクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブのテンポラリフォルダにコピーします。

プロンプトが表示されたら、空の CD または DVD を CD または DVD ドライブに挿入して、**OK** をクリックします。

- CD または DVD ドライブが 2 つある場合、ソース CD または DVD を挿入したドライブを選び、**バックアップ** をクリックします。コンピュータは、CD または DVD のデータを空の CD または DVD にコピーします。

ソース CD または DVD のコピーが完了すると、CD または DVD トレイが自動的に開きます。


空の CD-R または空の CD-RW の使い方

お使いの CD-RW ドライブは、CD-R および CD-RW ディスクという二種類の異なった記録メディアに書き込みをおこないます。空の CD-R は、音楽の保存やデータファイルを恒久的に保存するのに使用します。CD-R を作成したら、記録方法を変えない限りそのディスクに書き込むことはできません（詳細については、Sonic のマニュアルを参照）。空の CD-RW は、CD へのデータの書き込み、削除、再書き込み、およびアップデートをおこなうのに使用します。

役に立つヒント

- Sonic RecordNow を起動し、RecordNow プロジェクトを開いてから、Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R または CD-RW にファイルをドラッグ&ドロップしてください。
- 通常のステレオで再生する音楽 CD を焼くには、CD-R を使用する必要があります。CD-RW はほとんどの家庭用ステレオおよびカーステレオでは再生できません。
- Sonic RecordNow を使用して、音楽 DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーまたは MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- 空の CD-R または CD-RW に最大容量を焼かないでください。たとえば、650 MB の空の CD に 650 MB のファイルをコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で空の CD の 1 または 2 MB を必要とします。
- CD への記録方法に慣れるまでは、空の CD-RW ディスクを使って CD への記録を練習してください。間違えた場合でも、CD-RW であればデータを消去して再度やりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに恒久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。
- Sonic サポートウェブサイト sonicjapan.co.jp に、役に立つヒントが他にもありますので、参照してください。

ハイパースレディング

 **メモ**：ハイパースレディングは 3.06 GHz 以上のマイクロプロセッサを搭載したコンピュータでのみサポートされています。


ハイパースレディングは、Intel® のテクノロジーで、1 つの物理マイクロプロセッサを 2 つの論理マイクロプロセッサとして機能させることによってコンピュータパフォーマンスを全体的に向上させ、複数の特定のタスクを同時に処理することを可能にします。Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムは、ハイパースレディングを利用するために最適化されているので、Windows XP を使用することをお勧めします。多くのプログラムは、ハイパースレディングの恩恵を受けることになりませんが、ハイパースレディング用に最適化されていないプログラムもあります。それらのプログラムは、ソフトウェアの製造元によるアップデートが必要な場合もあります。

お使いのコンピュータがハイパースレディングテクノロジーを使用しているか確認するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 2 **ハードウェア** をクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 3 **デバイスマネージャ** ウィンドウで、プロセッサタイプの横のプラス (+) サインをクリックします。ハイパースレディングが有効な場合、プロセッサは 2 つ表示されます。

セットアップユーティリティを使ってハイパースレディングを有効または無効にすることができます。セットアップユーティリティにアクセスする方法については、98 ページ参照を参照してください。


USB デバイスからの起動

 **メモ**：USB デバイスから起動するには、デバイスが起動可能である必要があります。デバイスのマニュアルを参照して、デバイスが起動可能であるか確認してください。

メモリキーまたは CD-RW ドライブなどの USB デバイスからコンピュータを再起動するには、次の手順を実行します。

- 1 USB デバイスを USB コネクタに接続します (68 ページ参照)。
- 2 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします (29 ページ参照)。
- 3 コンピュータの電源を入れます。DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。


ここで時間をおきすぎて、Microsoft® Windows® のロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

 **メモ**：この機能は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスから起動します。

- 4 起動デバイスの一覧が表示された場合、**USB Flash Device** をハイライト表示して、<Enter> を押します。

コンピュータは接続されている USB デバイスから再起動します。

コンピュータの電源を切る



 **注意**：データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る際は、電源ボタンを押さずに、以下で説明する Microsoft® Windows® オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。次に、**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。
- 2 **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。

シャットダウン処理が完了すると、コンピュータの電源は切れます。


問題の解決

バッテリーの問題

-  警告：バッテリーの取り付け方を誤ると、バッテリーが破裂する恐れがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのもので交換してください。使用済みバッテリーの廃棄に関しては、製造元の指示に従って廃棄してください。
-  警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

バッテリーを交換します — コンピュータを起動した後に日時の情報を繰り返しリセットしなければならない場合、またはスタートアップの際に間違った日時が表示される場合は、バッテリーを交換します（89 ページ参照）。交換してもバッテリーが正常に機能しない場合、デルにお問い合わせください（101 ページ参照）。

ドライブの問題

-  警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているか確認します — スタート ボタンをクリックして、マイコンピュータ をクリックします。フロッピードライブ、CD ドライブ、または DVD ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックをおこない、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを認識できないことがあります。

ドライブを確認します

- 元のコピーディスク、CD、または DVD に問題がないか確認するため、別のディスクを挿入します。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。



ドライブまたはディスクをクリーニングします — 手順については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、14 ページを参照してください。

ケーブル接続を確認します

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 61 ページを参照してください。

DELL DIAGNOSTICS (診断) プログラムを実行します — 53 ページを参照してください。

CD および DVD ドライブの問題

-  メモ：高速 CD ドライブまたは DVD ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともあります。
-  メモ：様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

Windows の音量を調節します

- 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックします。
- 音量つまみを上にドラッグして、音量が上がったか確認します。
- どのボックスにもチェックマークがなく、ミュートが選択されていないか確認します。

スピーカーおよびサブウーハーを確認します — 44 ページの「サウンドとスピーカーの問題」を参照してください。

CD/DVD-RW に書き込みができない場合

その他のプログラムを閉じます — CD/DVD-RW ドライブはデータを書き込む際に、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD/DVD-RW に書き込む前にすべてのプログラムを閉じます。

CD/DVD-RW への書き込みの前に Windows のスタンバイモードを無効にします — 省電力モードについては、『はじめよう』ヘルプファイルを参照するか、Windows ヘルプで【スタンバイ】というキーワードを検索します。ヘルプファイルにアクセスするには、14 ページを参照してください。

ハードドライブの問題

チェックディスクを実行します

Windows XP

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
- 2 **ローカルディスク C:** を右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックします。
- 4 **ツール** タブをクリックします。
- 5 **エラーチェック** で、**チェックする** をクリックします。
- 6 **不良なセクタをスキャンし、回復する** をクリックします。
- 7 **開始** をクリックします。

Eメール、モデム、インターネットの問題



警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。



メモ：モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合、モデムは動作しません。

MICROSOFT OUTLOOK EXPRESS® のセキュリティ設定を確認します — Eメールの添付ファイルが開けない場合、次の手順を実行します。

- 1 Outlook Express で、**ツール**、**オプション** とクリックして、**セキュリティ** をクリックします。
- 2 **ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない** をクリックして、チェックマークを外します。

電話線の接続を確認します —

電話ジャックを確認します —

モデムを直接電話ジャックに接続します —

他の電話線を使用してみます —

- 電話線がモデムのジャックに接続されているか確認します。（ジャックは緑色のラベルかコネクタの絵柄の横にあります。）
- 電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッと収まったか確認します。
- モデムから電話線を取り外して、電話に接続します。電話の発信音を確認します。
- 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話を使ってモデムを直接電話ジャックに接続します。3 m 以内の電話線を使用します。


MODEM HELPER 診断プログラムを実行します — スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** をポイントして、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従ってモデムの問題を特定し、解決します(コンピュータによっては Modem Helper が利用できないものもあります)。

モデムが Windows と通信しているか確認します

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
 - 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
 - 3 **電話とモデムのオプション** をクリックします。
 - 4 **モデム** タブをクリックします。
 - 5 モデムの COM ポートをクリックします。
 - 6 Windows がモデムと通信しているか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。
- すべてのコマンドに応答が表示されていれば、モデムに問題はありません。

インターネットへの接続を確認します — ISP (インターネットサービスプロバイダ) との契約が済んでいることを確認します。E メールプログラム Outlook Express を起動して、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックしてチェックを外してからインターネットに接続します。問題がある場合、ご利用の ISP にお問い合わせください。

エラーメッセージ

 **警告** : 9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムのマニュアル、またはメッセージが表示された際に実行していたアプリケーションプログラムのマニュアルを参照してください。

ファイル名に次の文字は使用できません : ¥ / : * ? " < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

.DLL ファイルが見つかりません — アプリケーションプログラムに必要なファイルがありません。次の操作をおこない、アプリケーションプログラムを削除して再インストールします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プログラムの追加と削除** をクリックします。
- 2 削除したいプログラムを選択します。
- 3 **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックします。
- 4 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

起動用メディアを挿入します — 起動可能なフロッピーディスクまたは CD を挿入します。


非システムディスクまたはディスクエラーです — ドライブからフロッピーディスクを取り出し、コンピュータを再起動します。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおします — すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。場合によっては、コンピュータのリソースを回復させるため、コンピュータを再起動させた方が良い場合もあります。その場合、最初に使いたいプログラムを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — デルにお問い合わせください（101 ページ参照）。

x:¥ にアクセスできません。ドライブの準備ができていません — フロッピードライブがディスクを読み取ることができません。ドライブにフロッピーディスクを挿入して、もう一度試してみます。

IEEE 1394 デバイスの問題

 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

IEEE 1394 デバイスが正しくコネクタに挿入されているか確認します

Windows が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します


Windows XP

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows はデバイスを認識しています。

デルから購入した IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 —

デル以外から購入した IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 — デルにお問い合わせになるか (101 ページ参照)、IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。

キーボードの問題

 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。


キーボードケーブルを確認します

- キーボードケーブルがしっかりとコンピュータに接続されているか確認します。
- コンピュータをシャットダウンし (29 ページ参照)、お使いのコンピュータのセットアップ図にある指示通りにキーボードケーブルを接続しなおした後、コンピュータを再起動します。
- 曲がったり壊れたピンや、損傷したり擦り切れたケーブルがないか、ケーブルコネクタを確認します。曲がっているピンはまっすぐにします。
- キーボード延長ケーブルを取り外して、キーボードを直接コンピュータに接続します。

キーボードを確認します — 正常に機能している他のキーボードをコンピュータに接続して、使用してみます。新しく接続したキーボードが機能する場合、最初に接続していたキーボードに問題があります。

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 61 ページを参照してください。

ロックアップとソフトウェアの問題


 警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

コンピュータが起動しない場合

診断ライトを確認します — 49 ページを参照してください。

電源ケーブルがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します

コンピュータの反応が停止した場合

 注意：オペレーティングシステムのシャットダウンを実行できない場合、データを損失する恐れがあります。


コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ~ 10 秒以上押します。次に、コンピュータを再起動します。

プログラムの反応が停止した場合

プログラムを終了します

- 1 <Ctrl> <Shift> <Esc> を同時に押します。
- 2 **アプリケーション** をクリックします。
- 3 反応がなくなったプログラムを選択します。
- 4 **タスクの終了** をクリックします。

プログラムが繰り返し壊れる場合

 メモ：通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアル、フロッピーディスク、または CD に収録されています。

ソフトウェアのマニュアルを参照します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールして、再インストールします。

以前の Windows オペレーティングシステム用に設計されているプログラムの場合

プログラム互換性ウィザードを実行します

Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステムとは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するように設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** の順にポイントして、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
- 2 **プログラム互換性ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

画面が青一色になった場合

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けます。次に、コンピュータを再起動します。

その他のソフトウェアの問題

問題のあるプログラムのマニュアルを参照するか、またはトラブルシューティングの詳細について、そのプログラムの製造元に問い合わせます


- コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムと互換性があるか確認します。
- コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムとコンフリクトしていないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールして、再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

アンチウイルスプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます

開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします

メモリの問題

 警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。


メモリが不足しているというメッセージが表示された場合

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、問題が解決するか確認します。
- ソフトウェアのマニュアルを参照して、メモリの最小要件を確認します。必要に応じて、メモリを増設します（87 ページ参照）。
- メモリモジュールを取り付けなおして、お使いのコンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します（87 ページ参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（53 ページ参照）。

メモリにその他の問題がある場合

- メモリモジュールを取り付けなおして、お使いのコンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します（87 ページ参照）。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（87 ページ参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（53 ページ参照）。

マウスの問題

 警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

マウスケーブルを確認します

- 1 曲がったり壊れたピンや、損傷したり擦り切れたケーブルがないか、ケーブルコネクタを確認します。曲がっているピンはまっすぐにします。
- 2 マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを取り外してマウスをコンピュータに直接接続します。
- 3 コンピュータをシャットダウンし（29 ページ参照）、お使いのコンピュータのセットアップ図にある指示通りにマウスケーブルを接続しなおした後、コンピュータを再起動します。

コンピュータを再起動します

- 1 <Ctrl> <Esc> を同時に押して、**スタート** メニューを表示します。
- 2 u と入力してからキーボードの矢印キーを押し、**電源を切る** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 3 コンピュータの電源が切れた後、お使いのコンピュータのセットアップ図にある指示通りにマウスケーブルを接続しなおします。
- 4 コンピュータを起動します。

マウスを確認します — 正常に機能している他のマウスをコンピュータに接続して、使用してみます。新しく接続したマウスが機能する場合、最初に接続していたマウスに問題があります。


マウスの設定を確認します

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **マウス** をクリックします。
- 3 設定を調整してみます。

マウスドライバを再インストールします — 57 ページを参照してください。

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 61 ページを参照してください。

ネットワークの問題

 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

ネットワークケーブルコネクタを確認します — ネットワークケーブルがコンピュータ背面のネットワークコネクタおよびネットワークジャックの両方に、しっかりと差し込まれているか確認します。


コンピュータ背面のネットワークインジケータを確認します — インジケータが点灯しない場合、ネットワークと通信していないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。

コンピュータを再起動して、再度ネットワークにログオンしなおします

ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しく、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 61 ページを参照してください。

電源の問題

 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

電源ライトが緑色に点灯していて、コンピュータの反応が停止した場合 — 49 ページの「診断ライト」を参照してください。

電源ライトが緑色に点滅している場合 — コンピュータはスタンバイモードに入っています。スタンバイモードから通常の動作状態に戻すには、キーボードのキーを押すか、マウスを動かします。

電源ライトが消灯している場合 — コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルが、コンピュータ背面の電源コネクタおよびコンセントの両方にしっかりと差し込まれているか確認します。
- コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに差し込まれていて、電源タップに電源が入っているか確認します。電源保護装置、電源タップ、および電源延長ケーブルを取り外し、コンピュータの電源が入るか確認します。
- 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能するか確認します。
- 電源ケーブルおよび正面パネルのケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します。詳細については、74 ページを参照してください。

電源ライトが橙色および緑色に点灯しているか、または橙色に点灯している場合 — コンピュータに電力は供給されていますが、内部で電源の問題が発生している可能性があります。

- 電圧切り替えスイッチが利用できる場合、ご使用地域の AC 電源の値に設定されているか確認します（10 ページ参照）。
- プロセッサ電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します（74 ページ参照）。


電源ライトが橙色に点滅している場合 — デバイスが故障しているか、または正しく取り付けられていない可能性があります。


- メモリモジュールを取り外して、再度取り付けます（87 ページ参照）。
- すべてのカードを取り外して、取り付けなおします（75 ページ参照）。
- グラフィックカードを取り付けている場合、取り外して、取り付けなおします（75 ページ参照）。

電気的な妨害を解消します — 電気的な妨害の原因には、以下のものがあります。

- 電源ケーブル、キーボードケーブル、およびマウス延長ケーブル
- ひとつの電源タップに接続しているデバイスの数が多すぎる場合
- ひとつのコンセントに複数の電源タップが接続されている場合

プリンタの問題

 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

 **メモ**：プリンタのテクニカルサポートについては、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタのマニュアルを確認します — プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタの電源が入っているか確認します

プリンタのケーブル接続を確認します

- ケーブル接続の詳細については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルが、プリンタおよびコンピュータにしっかりと接続されているか確認します（18 ページ参照）。


コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能するか確認します。


Windows がプリンタを認識しているか確認します

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。プリンタが表示されている場合、プリンタのアイコンを右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブをクリックします。パラレルプリンタの場合、**印刷するポート** が **LPT1：プリンタポート** に設定されているか確認します。USB プリンタの場合、**印刷するポート** が **USB** に設定されているか確認します。

プリンタドライバを再インストールします — 再インストールの手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナーの問題

 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

 **メモ**：スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

スキャナーのマニュアルを確認します — スキャナーのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナーのロックを削除します — お使いのスキャナーに固定タブやボタンがある場合、ロックが解除されているか確認します。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます

ケーブル接続を確認します


- ケーブル接続の詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーのケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

Microsoft Windows がスキャナーを認識しているか確認します

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **スキャナとカメラ** をクリックします。
お使いのスキャナーが表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。

スキャナードライバを再インストールします — 再インストールの手順については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

サウンドとスピーカーの問題

 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

スピーカーから音がしない場合

 **メモ**：MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴く場合、プレーヤーの音量が十分か確認してください。

スピーカーのケーブル接続を確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図の指示通りにスピーカーが接続されているか確認します。サウンドカードをご購入された場合、スピーカーがカードに接続されているか確認します。

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。お使いのスピーカーの音量を調節できる場合、音の歪みを解消するため、音量、低音、または高音の調節をします。

WINDOWS の音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量のつまみが上げてあり、ミュートが選択されていないことを確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — コンピュータの正面パネルにあるヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能するか確認します。

デジタルモードを有効にします — CD ドライブがアナログモードで動作している場合、お使いのスピーカーは機能しません。

Windows XP

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**サウンド、音声、およびオーディオデバイス** をクリックします。
- 2 **サウンドとオーディオデバイス** をクリックします。
- 3 **ハードウェア** タブをクリックします。
- 4 お使いの CD ドライブ名をダブルクリックします。
- 5 **プロパティ** タブをクリックします。
- 6 この CD-ROM デバイスで**デジタル音楽 CD を使用可能にする** ボックスにチェックマークを付けます。

電気的な妨害を解消します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切ってみます。

スピーカーの診断プログラムを実行します

サウンドドライバを再インストールします — 57 ページを参照してください。

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 61 ページを参照してください。

ヘッドフォンから音がしない場合

ヘッドフォンのケーブル接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します (67 ページ参照)。

デジタルモードを無効にします — CD ドライブがデジタルモードで動作している場合、お使いのヘッドフォンは機能しません。

Windows XP

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**サウンド、音声、およびオーディオデバイス** をクリックします。
- 2 **サウンドとオーディオデバイス** をクリックします。
- 3 **ハードウェア** タブをクリックします。
- 4 お使いの CD ドライブ名をダブルクリックします。
- 5 **プロパティ** タブをクリックします。
- 6 この CD-ROM デバイスで**デジタル音楽 CD を使用可能にする** ボックスのチェックマークを外します。

WINDOWS の音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量のつまみが上げてあり、ミュートが選択されていないことを確認します。

ビデオとモニターの問題



警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

画面に何も表示されない場合



メモ：トラブルシューティングの手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

モニターのケーブル接続を確認します

- グラフィックケーブルが、お使いのコンピュータのセットアップ図にある指示通りに接続されているか確認します。
- グラフィック延長ケーブルを取り外すと問題が解決する場合、ケーブルに欠陥があります。
- コンピュータの電源ケーブルとモニターの電源ケーブルを交換して、電源ケーブルに問題がないか確認します。
- 曲がったり壊れたピンがないか、コネクタを確認します。（通常、モニターケーブルコネクタには欠けているピンがあります。）

モニターの電源ライトを確認します — 電源ライトが消灯している場合、ボタンをしっかりと押して、モニターの電源が入っているか確認します。電源ライトが点灯または点滅している場合、モニターに電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能するか確認します。

モニターを確認します — 正常に機能している他のモニターをコンピュータに接続して、使用してみます。新しく接続したモニターが機能する場合、最初に接続していたモニターに問題があります。

診断ライトを確認します — 49 ページを参照してください。

DELL DIAGNOSTICS (診断) プログラムを実行します — 53 ページを参照してください。

画面が見つらい場合

モニターの設定を確認します — モニターのコントラストと輝度の調整、モニターの消磁、およびモニターのセルフテストを実行する手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

サブウーハーをモニターから離します — スピーカーにサブウーハーが含まれている場合、サブウーハーをモニターから 60 cm 以上離します。

外部電源をモニターから離します — 扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、およびその他の電気機器により、画面の状態が不安定になることがあります。電氣的な妨害を調べるため、コンピュータの近くで使用している機器の電源を切ってみます。

モニターの向きを変えて日光の反射を防ぎます


Windows の画面設定を調整します


- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 2 **画面** をクリックして、**設定** タブをクリックします。
- 3 **画面の解像度** と **画面の色** の設定を変更します。


高度なトラブルシューティング


診断ライト


コンピュータの背面パネルには、それぞれ「A」「B」「C」「D」とラベルが付いた4つのライトがあり、問題のトラブルシューティングに役立ちます（69ページ参照）。これらのライトは、黄色または緑色に点灯します。コンピュータが正常に起動すると、ライトが点滅します。コンピュータの起動が終了したら、4つのライトすべてが緑色に点灯します。コンピュータが誤動作している場合、ライトの色と順番で問題を特定することができます。


 警告：9ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。


ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
	コンピュータが通常のオフの状態、または BIOS に障害が起こっている可能性があります。	コンピュータが機能しているコンセントに接続され、電源ボタンを押していることを確認します。


 = 黄色


 = 緑色



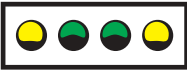
 = オフ

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 <p data-bbox="262 319 411 348">A B C D</p>	<p data-bbox="472 237 882 326">メモリモジュールが検出されましたが、メモリに障害が発生していません。</p>	<ul data-bbox="886 237 1276 996" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="886 237 1276 366">• 取り付けられているメモリモジュールが1つの場合、取り付けなおして（87 ページ参照）、コンピュータを再起動します。 <li data-bbox="886 371 1276 760">• 取り付けられているメモリモジュールが2つ以上の場合、モジュールを取り外し、1つを取り付けなおして（87 ページ参照）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、別のモジュールを取り付けなおします。障害のあるモジュールが見つかるまで、またはエラーなしですべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。 <li data-bbox="886 765 1276 894">• 適切に動作する同じ種類のメモリがある場合、そのメモリをコンピュータに取り付けます（87 ページ参照）。 <li data-bbox="886 899 1276 996">• 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（101 ページ参照）。

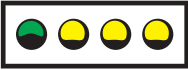
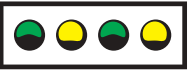

 = 黄色


 = 緑色


 = オフ


ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 <p>A B C D</p>	<p>拡張カードに障害が起こっている可能性があります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 カード（ビデオカードではない）を取り外し（75 ページ参照）、コンピュータを再起動してコンフリクトが起きているか調べます。 2 問題が解決しない場合、取り外したカードを取り付け、別のカードを取り外してコンピュータを再起動します。 3 各カードでこの手順を繰り返します。コンピュータが正常に起動する場合、コンピュータから取り外した最後のカードのリソースコンフリクトのトラブルシューティングをおこないます（61 ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決」を参照）。 4 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（101 ページ参照）。
 <p>A B C D</p>	<p>フロッピーまたはハードドライブに障害が起こっている可能性があります。</p>	<p>すべての電源およびデータケーブルを接続しなおし、コンピュータを再起動します。</p>
 <p>A B C D</p>	<p>USB に障害が起こっている可能性があります。</p>	<p>すべての USB デバイスを取り付けなおし、ケーブル接続を確認して、コンピュータを再起動します。</p>


-  = 黄色
-  = 緑色
-  = オフ

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 <p>A B C D</p>	<p>メモリモジュールが検出されませんでした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> すべてのメモリモジュールを取り付けなおし（87 ページ参照）、コンピュータを再起動します。 メモリコネクタが不良でないことを確認するために、すべてのメモリモジュールを取り外し、メモリモジュールを1つ取り付けて（コンピュータが単一モジュールに対応している場合）（87 ページ）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、メモリモジュールを別のコネクタに移動して、コンピュータを再起動します。障害のあるコネクタが見つかるまで、またはエラーなしですべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。
 <p>A B C D</p>	<p>メモリモジュールは検出されましたが、メモリ構成または互換性エラーが存在します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特別なメモリモジュール/メモリコネクタ設置要件がないか確認します（87 ページ参照）。 取り付けるメモリモジュールがコンピュータと互換性があるか確認します（94 ページ参照）。 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（101 ページ参照）。
 <p>A B C D</p>	<p>その他の障害が発生しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ハードドライブ、CDドライブ、および DVD ドライブからシステム基板へのケーブルが正しく接続されているか確認します（74 ページ参照）。 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（101 ページ参照）。

 = 黄色

 = 緑色

 = オフ

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 A B C D	POST 終了後、コンピュータは通常の動作状態にあります。	特にありません。

-  = 黄色
-  = 緑色
-  = オフ

Dell Diagnostics（診断）プログラム

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用するとき

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、「問題の解決」（31 ページ参照）のチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行することによって、デルにお問い合わせをしなくても問題を解決できる場合があります。デルにお問い合わせになる場合、テストの結果はデルのサポート担当者に重要な情報を提供します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムでは、以下のことが可能です。

- 1 つまたはすべてのデバイスのテストの実行
- 発生している問題の症状に基づいたテストの選択
- テストが実行される回数を選択
- エラーが検出された場合のテストの中断
- テストとデバイスについて説明したヘルプ情報へのアクセス
- テストが正常に終了したかどうかを知らせるステータスメッセージの表示
- 問題が検出された場合のエラーメッセージの表示

Dell Diagnostics (診断) プログラムの起動

- ➡ 注意：Dell Diagnostics (診断) プログラムは、Dell™ コンピュータ専用です。このプログラムを別のコンピュータで使用すると、エラーメッセージが表示されます。

ハードドライブ (54 ページ参照) または『Dell Dimension ResourceCD』(54 ページ参照) から Dell Diagnostics (診断) プログラムを起動します。

ハードドライブからの Dell Diagnostics (診断) プログラムの起動

- 1 コンピュータをシャットダウンして (29 ページ参照)、再起動します。
- 2 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

- 📌 メモ：Diagnostics (診断) プログラムユーティリティパーティションが検出されませんというメッセージが表示された場合、Dell Diagnostics (診断) プログラムを『ResourceCD』から実行します (54 ページ参照)。

ここで時間をおきすぎて、Microsoft® Windows® のロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

- 3 起動デバイスの一覧が表示されたら、**Boot to Utility Partition** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 4 Dell Diagnostics (診断) プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます (53 ページ参照)。

ResourceCD からの Dell Diagnostics (診断) プログラムの起動

- 1 『ResourceCD』を挿入します。
- 2 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして (29 ページ参照)、再起動します。

DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

ここで時間をおきすぎて、Windows のロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

- 📌 メモ：この機能は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスから起動します。

- 3 起動デバイスの一覧が表示されたら、**IDE CD-ROM Device** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 4 CD の起動メニューから **IDE CD-ROM Device** オプションを選びます。

- 5 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選びます。
- 6 1 と入力して『ResourceCD』のメニューを起動します。
- 7 2 と入力して Dell Diagnostics (診断) プログラムを起動します。
- 8 番号の付いた一覧から **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選びます。複数のバージョンが表示されている場合、お使いのコンピュータに該当するバージョンを選びます。
- 9 Dell Diagnostics (診断) プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます (53 ページ参照)。

Dell Diagnostics (診断) プログラムのメインメニュー

- 1 Dell Diagnostics (診断) プログラムがロードされ **Main Menu** 画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常、このテストは 10 ~ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に Express Test を実行すると、問題をさらにすばやく特定することができます。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常、このテストは 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。

- 2 テスト中に問題を検出すると、エラーコードと問題の説明を示すメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録して、画面の指示に従います。

エラーが解決できない場合、デルにお問い合わせください (101 ページ参照)。



メモ：お使いのコンピュータのサービスタグは、各テスト画面の一番上にあります。デルにお問い合わせになる場合、テクニカルサポートがお客様のサービスタグナンバーをお尋ねします。

- 3 Custom Test または Symptom Tree オプションからテストを実行する場合、適切なタブをクリックします（詳細については、以下の表を参照）。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	発生したエラーの状態、エラーコード、および問題の説明を表示します。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	<p>選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。</p> <p>Dell Diagnostics（診断）プログラムは、セットアップユーティリティ、メモリ、および様々な内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入手し、画面の左側ペインのデバイス一覧にその情報を表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。</p>
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

- 4 『ResourceCD』から Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行している場合、テストが終了したら、CD を取り出します。
- 5 テスト画面を閉じ、**Main Menu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了して、コンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いのコンピュータには、出荷時に必要なドライバがプリインストールされていますので、新たにインストールしたり設定する必要はありません。



注意：『Dell Dimension ResourceCD』には、お使いのコンピュータにインストールされていないオペレーティングシステムのドライバが収録されている場合があります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに対応していることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。以下の場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの確認

デバイスに問題が発生した場合、問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符（ [!] の付いた黄色い丸）が付いているものがないかを確認します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります（57 ページ参照）。

ドライバの再インストール



注意：デルサポートウェブサイト support.jp.dell.com および『Dell Dimension ResourceCD』では、Dell™ コンピュータ用に承認されているドライバを提供しています。その他の媒体からドライバをインストールする場合、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

Windows XP のデバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートした後に、コンピュータに問題が発生した場合、Windows XP のデバイスドライバのロールバックを使用して、以前にインストールしたバージョンのドライバに置き換えることができます。


- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 7 **ドライバ** タブをクリックします。
- 8 **ドライバのロールバック** をクリックします。

デバイスドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元（59 ページ参照）を使用して、オペレーティングシステムを新しいドライバがインストールされる前の動作状態に戻してみます。

ResourceCD の使い方

デバイスドライバのロールバックまたはシステム復元（59 ページ参照）で問題を解決できない場合、『ResourceCD』からドライバを再インストールします。

- 1 Windows のデスクトップ画面で、『ResourceCD』を挿入します。
初めて『ResourceCD』をお使いになる場合、手順 2 へ進みます。それ以外の場合、手順 5 へ進みます。
- 2 **ResourceCD Installation** プログラムが起動したら、**OK** をクリックし、プログラムをインストールして、画面の指示に従います。
- 3 **InstallShield ウィザードの完了** ウィンドウが表示されたら、『ResourceCD』を取り出し、**完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。
- 4 Windows のデスクトップが表示されたら、『ResourceCD』を再度挿入します。
- 5 **Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます。**画面で、**次へ** をクリックします。

 メモ：『ResourceCD』には、工場出荷時にデルがプリインストールしたハードウェアのドライバのみが表示されます。新たにハードウェアを取り付けた場合、この新しいハードウェアのドライバは『ResourceCD』には表示されません。その場合、『ResourceCD』プログラムを閉じます。ドライバについては、デバイスに付属しているマニュアルを参照してください。

『ResourceCD』がコンピュータのハードウェアを検出中というメッセージが表示されます。


コンピュータで使用されているドライバが、自動的にメッセージウィンドウに表示されます。

6 再インストールするドライバをクリックして、画面の指示に従います。

ドライバが一覧にない場合、そのドライバはお使いのオペレーティングシステムに必要なありません。

Microsoft® Windows® XP システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したためにコンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、14 ページを参照してください。


 注意：データファイルのバックアップを定期的に作成しましょう。システムの復元は、データファイルを監視したり、復元することはできません。

復元ポイントの作成

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **システムの復元** をクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

コンピュータを以前の動作状態に復元する

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、問題を解決するには、デバイスドライバのロールバック（58 ページ参照）を使用します。失敗した場合、システムの復元を使用します。

 注意：コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → システムツール**の順にポイントして、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
- 3 コンピュータを復元する日付をクリックします。

復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントを表示して選択できるカレンダーが表示されます。復元ポイントを使用できる日付は、すべて太字で表示されます。

- 4 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。

日付の中に復元ポイントが 1 つしかない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。2 つ以上の復元ポイントが利用できる場合、使用する復元ポイントをクリックします。


- 5 **次へ** をクリックします。

システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが再起動します。

- 6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更する場合、別の復元ポイントを使用して手順を繰り返したり、復元を元に戻すことができます。

最後のシステムの復元を元に戻す

 **注意**：最後のシステムの復元を元に戻す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → システムツール**の順にポイントして、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **以前の復元を取り消す** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 3 **次へ** をクリックします。
- 4 **システムの復元** 画面が表示され、コンピュータが再起動します。
- 5 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

システムの復元を有効にする

空き容量が 200 MB 以下のハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されます。システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムの復元** タブをクリックします。
- 5 **すべてのドライブでシステムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検出されないか、検出されても間違っていて設定されている場合、Windows XP の IRQ コンフリクトが発生しています。

Windows XP を実行しているコンピュータでコンフリクトを調べるには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックして、**システム** をクリックします。
- 3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 4 **デバイスマネージャ** の一覧で、他のデバイスとのコンフリクトを調べます。
コンフリクトの起こっているデバイスの横には黄色の感嘆符 (!) が付いているので、コンフリクトが確認できます。赤色の x 印が付いている場合、デバイスが無効になっています。
- 5 コンフリクトの起こっているデバイスのいずれかをダブルクリックして、**プロパティ** ウィンドウを開きます。
IRQ コンフリクトが起こっている場合、**プロパティ** ウィンドウの **デバイスの状態** 領域に、デバイスの IRQ を共有しているカード、またはデバイスが表示されます。
- 6 **デバイスマネージャ** からデバイスを再設定または削除して、コンフリクトを解決します。

Microsoft® Window® XP の再インストール

はじめに

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールする場合、まず最初に Windows XP のデバイスドライバのロールバック（58 ページ参照）を使います。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元（59 ページ参照）を使用して、オペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。

- ➡ 注意：この手順を実行する前に、お使いのプライマリハードドライブのすべてのデータファイルをバックアップします。通常のハードドライブ構成では、プライマリハードドライブはコンピュータによって 1 番目のドライブとして認識されます。

Windows XP を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell™ 『オペレーティングシステム CD』
- Dell 『ResourceCD』

- 📄 メモ：『ResourceCD』には、コンピュータの製造過程でプリインストールされたドライバが収録されています。『ResourceCD』を使って、必要なすべてのドライバをロードします。

Windows XP の再インストール

Windows XP を再インストールするには、次項で記載されている手順を順番通りに実行します。

再インストール処理を完了するには、1～2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

- ➡ 注意：『オペレーティングシステム CD』では、Windows XP の再インストール用のオプションを提供します。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。
- ➡ 注意：Windows XP とのコンフリクトを防ぐため、システムにインストールされているアンチウイルスソフトウェアを無効にしてから、Windows XP を再インストールしてください。手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。

オペレーティングシステム CD からの起動

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。Install Windows XP というメッセージが表示された場合、**終了** をクリックします。
- 3 コンピュータを再起動します。
- 4 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。
オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。
- 5 矢印キーを押して **CD-ROM** を選び、<Enter> を押します。
- 6 Press any key to boot from CD というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。

Windows XP のセットアップ

- 1 **セットアップの開始** 画面が表示されたら、<Enter> を押して続行します。
- 2 **Microsoft Windows ライセンス契約** 画面の内容を読み、<F8> を押して、使用許諾契約書に同意します。
- 3 お使いのコンピュータにすでに Windows XP がインストールされていて、現在の Windows XP データを復元したい場合、**r** と入力して修復オプションを選び、CD を取り出します。
- 4 新たに Windows XP をインストールする場合、<Esc> を押してオプションを選択します。
- 5 <Enter> を押してハイライト表示されたパーティションを選び（推奨）、画面の指示に従います。

Windows XP セットアップ 画面が表示され、オペレーティングシステムは、ファイルのコピーおよびデバイスのインストールを開始します。コンピュータが数回自動的に再起動します。



メモ：ハードドライブの容量やコンピュータの速度によって、セットアップに要する時間は異なります。




注意：Press any key to boot from the CD というメッセージが表示されますが、どのキーも押さないでください。

- 6 **地域と言語のオプション** 画面が表示されたら、お住まいの地域の設定を選択して、**次へ** をクリックします。
- 7 **ソフトウェアの個人用設定** 画面で、お名前と会社名（オプション）を入力して、**次へ** をクリックします。
- 8 Windows XP Home Edition を再インストールする場合、**コンピュータ名は何ですか？** ウィンドウが表示されたらコンピュータ名を入力（または記載の名前を承認）して、**次へ** をクリックします。


Windows XP Professional を再インストールする場合、**コンピュータ名と Administrator** ウィンドウが表示されたらコンピュータ名（または記載の名前を承認）およびパスワードを入力して、**次へ** をクリックします。

- 9 **モデムのダイヤル情報** 画面が表示されたら、必要な情報を入力して、**次へ** をクリックします。
- 10 **日付と時刻の設定** ウィンドウに日付と時刻を入力して、**次へ** をクリックします。
- 11 **ネットワークの設定** 画面が表示されたら、**標準設定** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 12 Windows XP Professional を再インストールし、ネットワーク設定に関するネットワーク情報を入力するよう求められた場合、ご自分の設定を入力します。設定がわからない場合、デフォルトの選択肢を選びます。

Windows XP は、オペレーティングシステムのコンポーネントをインストールして、コンピュータを設定します。コンピュータが自動的に再起動します。

 **注意:** Press any key to boot from the CD というメッセージが表示されますが、どのキーも押さないでください。

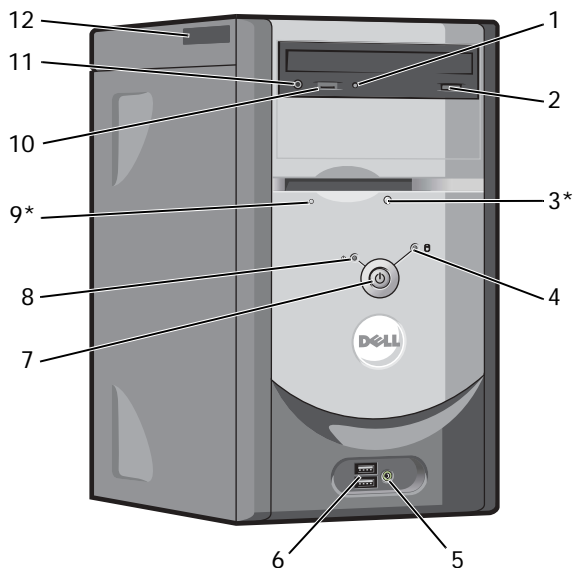
- 13 **Microsoft Windows へようこそ** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 14 **インターネットに接続する方法を指定してください** というメッセージが表示されたら、**省略** をクリックします。
- 15 **Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？** 画面が表示されたら、**いいえ、今回はユーザー登録しません** を選んでから、**次へ** をクリックします。
- 16 **このコンピュータを使うユーザーを指定してください** 画面が表示されたら、5名までユーザーを入力できます。
- 17 **次へ** をクリックします。
- 18 **完了** をクリックし、セットアップを完了して、CD を取り出します。

- 19 『ResourceCD』を使って、適切なドライバを再インストールします（57 ページ参照）。
 - 20 アンチウイルスソフトウェアを再インストールします。
 - 21 使用するプログラムを再インストールします。
-  メモ：Microsoft Office または Microsoft Works Suite プログラムを再インストールして有効にするには、Microsoft Office または Microsoft Works Suite の CD ケースの裏面にある Product Key（プロダクトキー）ナンバーが必要です。

部品の拡張および交換

コンピュータの正面および背面

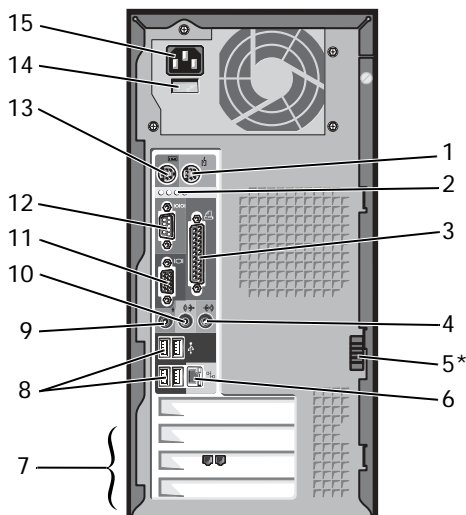
正面図



* オプションのフロッピードライブ搭載のコンピュータ用

1	CD / DVD ドライブ動作 ライト	ドライブ動作ライトは、コンピュータが CD / DVD ドライブからデータを読み取る際に点灯します。
2	CD / DVD 取り出しボタン	このボタンを押して、CD を CD / DVD ドライブから取り出します。
3	フロッピードライブ 取り出しボタン	このボタンを押して、ディスクをフロッピードライブから取り出します。 (オプションのフロッピードライブ搭載のコンピュータ用)
4	ハードドライブ動作 ライト	ハードドライブライトは、コンピュータがハードドライブからデータを読み取る、または書き込む際に点灯します。このライトは、CD プレーヤーなどのデバイスが動作中にも点灯します。
5	ヘッドフォンコネクタ	ヘッドフォンまたはスピーカーをヘッドフォンコネクタに接続して、CD プレーヤーおよびビープ音などのシステム音を含むすべての音を聞くことができます。
6	USB 2.0 コネクタ (2)	ジョイスティックまたはカメラなど、時々接続するデバイスは正面の USB コネクタを使用します。 プリンタおよびキーボードなど、通常接続したままのデバイスは背面の USB コネクタを使用することをお勧めします。
7	電源ボタン	電源ボタンを押して、コンピュータに電源を入れます。 注意：データの損失を防ぐため、電源ボタンを押してコンピュータの電源を切らないでください。電源ボタンを押す代わりに、オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。
8	電源ライト	電源ライトは、点灯または点滅で様々な状態を示します。詳細については、41 ページを参照してください。
9	フロッピードライブ 動作ライト	フロッピードライブライトは、コンピュータがフロッピードライブからデータを読み取る、または書き込む際に点灯します。このライトが消灯するのを待ってから、フロッピーディスクをドライブから取り出します。 (オプションのフロッピードライブ搭載のコンピュータ用)
10	CD / DVD ボリューム コントロールダイヤル	ダイヤルを動かして、CD / DVD ディスクの音量を調節します。
11	CD / DVD ヘッドフォン コネクタ	ヘッドフォンコネクタを CD / DVD ドライブに挿入します。ドライブがデジタルモードで動作している場合、ヘッドフォンは機能しません。デジタルモードを無効にするには、45 ページの「ヘッドフォンから音がしない場合」を参照してください。
12	サービスタグ	このタグは、デルサポートウェブサイトまたはテクニカルサポートにお電話をいただいた際に、お使いのコンピュータを識別するのに使用します。

背面図



* すべてのコンピュータに搭載されているわけではありません。

1	マウスコネクタ	標準型マウスを使用している場合、マウスケーブルを緑色のマウスコネクタに差し込みます。コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスの電源を切った後、マウスをコンピュータに接続します。USB マウスを使用している場合、USB コネクタに差し込みます。
2	診断ライト (4)	診断ライトは、Diagnostic (診断) コードに基づき、コンピュータの問題を解決するのに役立ちます。詳細については、49 ページの「診断ライト」を参照してください。
3	パラレルコネクタ	プリンタなどのパラレルデバイスをパラレルコネクタに接続します。USB プリンタを使用している場合、USB コネクタに差し込みます。
4	ライン入力コネクタ	青色のライン入力コネクタにカセットプレーヤー、CD プレーヤー、または VCR などの記録 / 再生デバイスを接続します。 (サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、マイクコネクタはカードにあります。)
5	カバーラッチ	ラッチを外してコンピュータからカバーを取り外します。

- 6 ネットワークアダプタコネクタ コンピュータをネットワークやモデムに取り付けるには、ネットワークケーブルの片方をネットワークジャックやネットワークデバイスに接続します。ネットワークケーブルのもう片方の端を、コンピュータ背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。インジケータにカチッと収まるまで、ネットワークケーブルをしっかりと取り付けます。
- ネットワークコネクタカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。
- カテゴリ 5 のケーブルを使用して、ネットワークを接続することをお勧めします。カテゴリ 3 のケーブルを使用する必要がある場合、ネットワーク速度を 10 Mbps にして動作の信頼性を確保します。




ネットワークジャック





モデムジャック

- 7 カードスロット (3) 取り付けられているすべての PCI カード用のアクセスコネクタです。
- 8 USB 2.0 コネクタ (4) プリンタやキーボードなど、通常接続したままのデバイスには背面 USB コネクタを使用します。
- ジョイスティックやカメラなど、時々接続するデバイスには正面 USB コネクタを使用することをお勧めします。
- 9 マイクコネクタ ピンク色のマイクコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。
- (サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、マイクコネクタはカードにあります。)
- 10 ライン出力コネクタ 緑色のライン出力コネクタにヘッドフォンやほとんどのアンプ内蔵型スピーカーを接続します。
- (サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。)
- 11 ビデオコネクタ モニターのケーブルを青色のコネクタに接続します。
- 12 シリアルコネクタ ハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスをシリアルポートに接続します。
- 13 キーボードコネクタ 標準型キーボードを使用している場合、キーボードケーブルを紫色のキーボードコネクタに差し込みます。USB キーボードを使用している場合、USB コネクタに差し込みます。
- 14 電圧切り替えスイッチ (すべてのコンピュータに搭載されているわけではありません) 詳細については、9 ページの安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。
- 15 電源コネクタ 電源ケーブルを差し込みます。

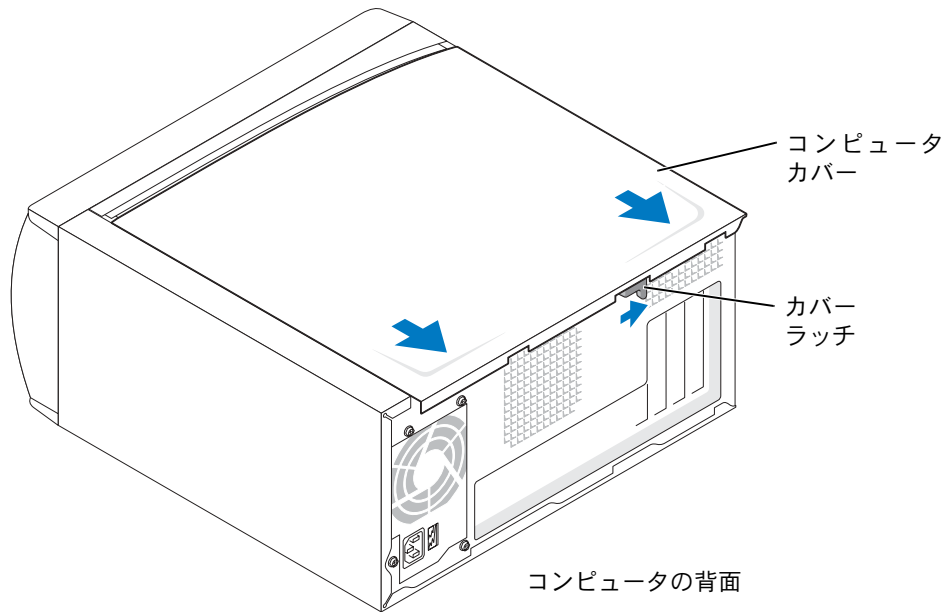
コンピュータカバーの取り外し

 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします（29 ページ参照）。
 - 2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
-  **注意**：ネットワークケーブルを外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に壁のネットワークジャックから外します。
- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから取り外します。
 - 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。


 **警告：**感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。


- 5 コンピュータカバーを上向きにして、コンピュータを横に倒します。
- 6 コンピュータカバーにカバーラッチがある場合、カバーラッチをスライドして押さえます。
- 7 コンピュータカバーのへこみ部分をつかんで、コンピュータカバーをコンピュータの背面に向けてスライドします。

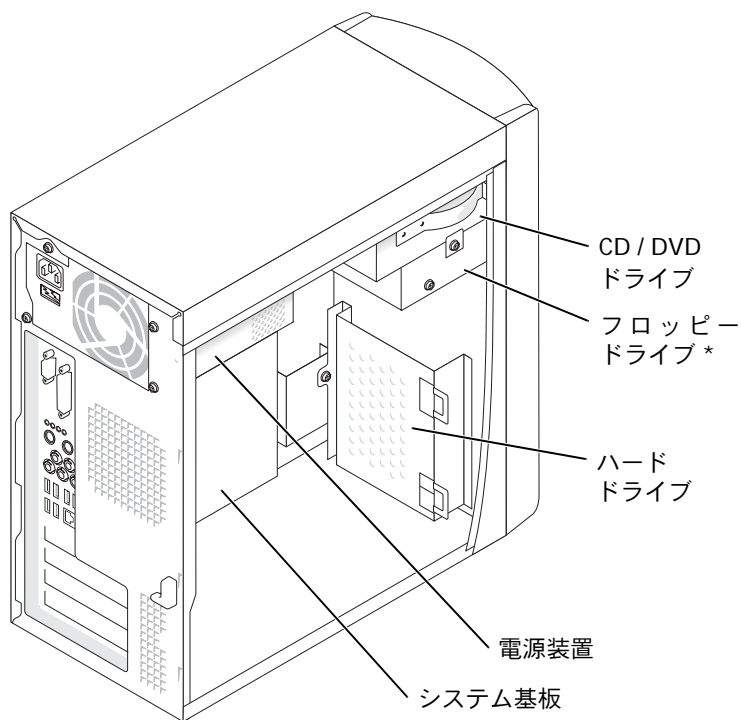


- 8 平らな面にコンピュータカバーを置きます。

コンピュータの内部

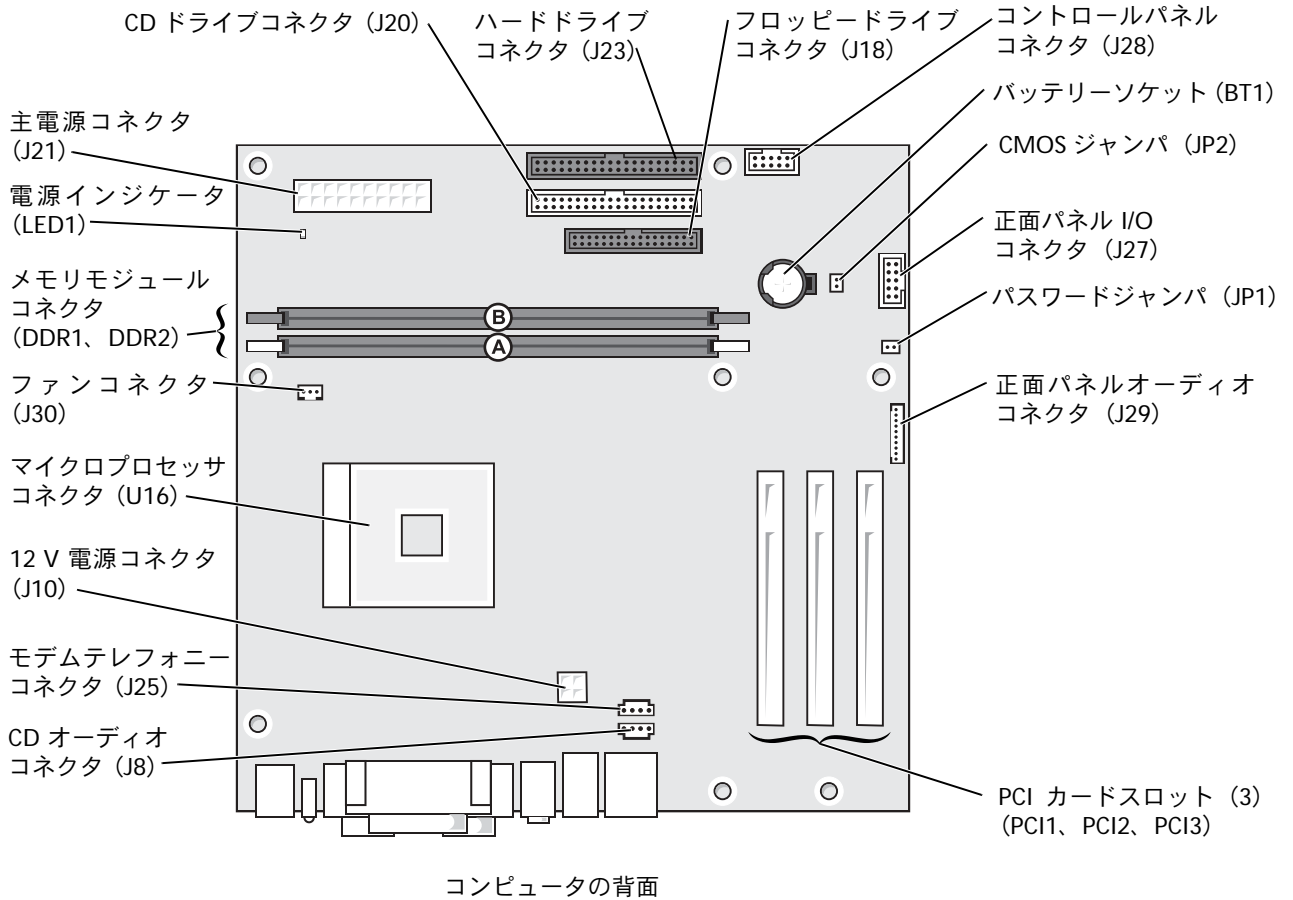
 警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

 警告：感電を防ぐため、コンピュータカバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。



* すべてのコンピュータに搭載されているわけではありません。

システム基板のコンポーネント



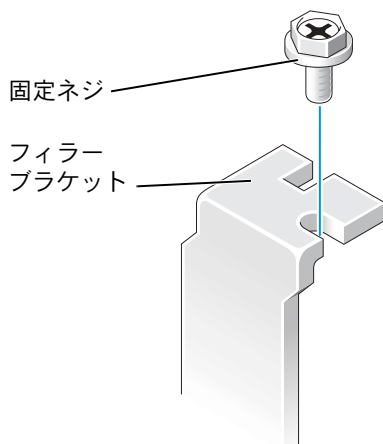
カードの取り付け

⚠ 警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします (29 ページ参照)。
 - 2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
- ➡ 注意：**ネットワークケーブルを外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に壁のネットワークジャックから外します。
- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから取り外します。
 - 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。

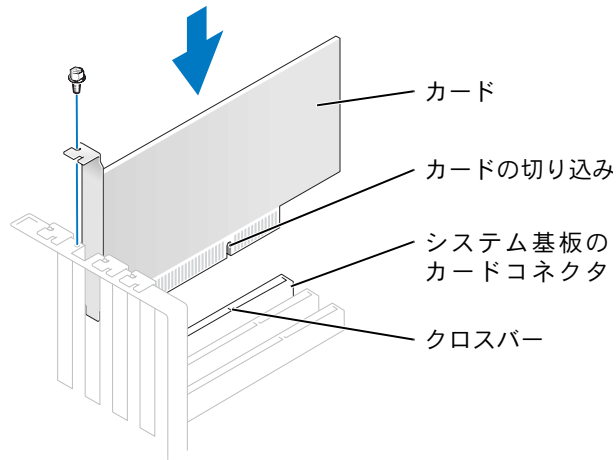
⚠ 警告：感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 5 コンピュータカバーを開きます (71 ページ参照)。
- 6 コンピュータ内でシステム基板が下になるように、コンピュータを横に倒します。
- 7 使用するカードスロットのフィラーブラケットのネジを外します。

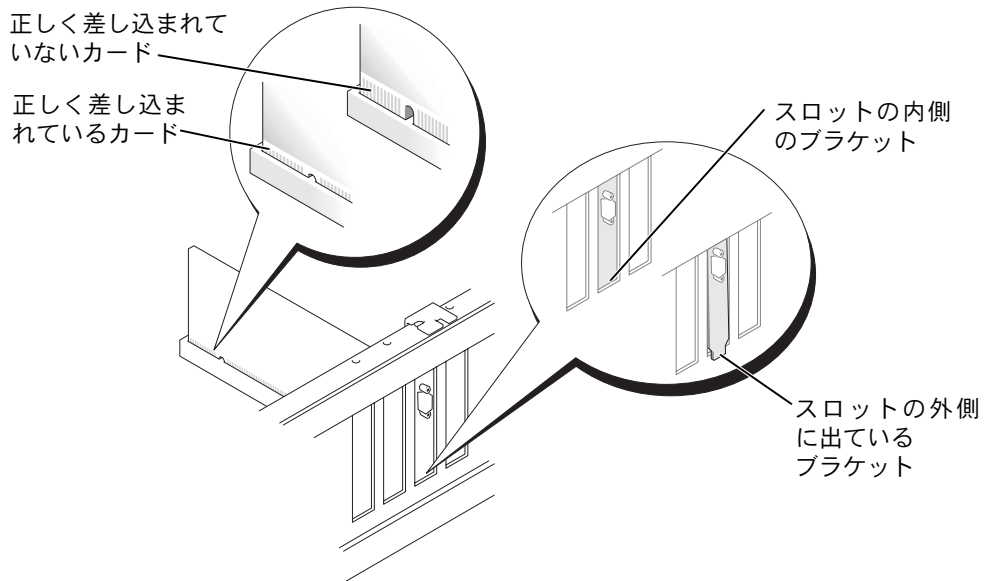


⚠ 警告：ネットワークアダプタの中には、ネットワークに接続すると自動的にコンピュータを起動するものがあります。感電を防ぐため、カードを取り付ける前に、コンピュータの電源プラグをコンセントから外していることを確認してください。

- 8 カードの底部にある切り込みと、システム基板のコンネクタのクロスバーを合わせます。カードがコンネクタに完全に装着されるまでカードを軽く揺り動かして取り付けます。




カードが完全に装着されていて、ブラケットがカードスロットの内側に入っているか確認します。




- 9 手順7で外したネジを使って、フィラーブラケットをカードの端に固定します。
- 10 必要なすべてのケーブルをカードに接続します。
カードのケーブル接続については、カードのマニュアルを参照してください。
 - ➡ 注意：カードケーブルは、カードの上や後ろを通して配線しないでください。ケーブルをカードの上に配線すると、装置に損傷を与える恐れがあります。
- 11 コンピュータカバーを取り付けます（91 ページ参照）。
 - ➡ 注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 12 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 13 カードのマニュアルにある説明に従い、必要なドライバをすべてインストールします。

フロッピードライブの追加

 警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

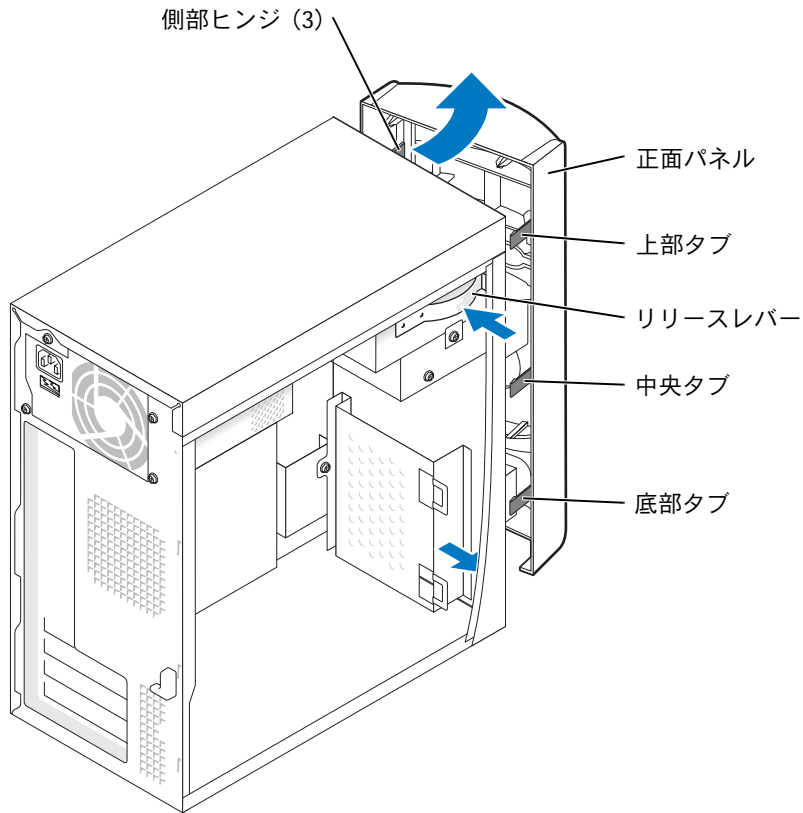
- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします（29 ページ参照）。
- 2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
 - ➡ 注意：ネットワークケーブルを外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に壁のネットワークジャックから外します。
- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから取り外します。
- 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。

 警告：感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

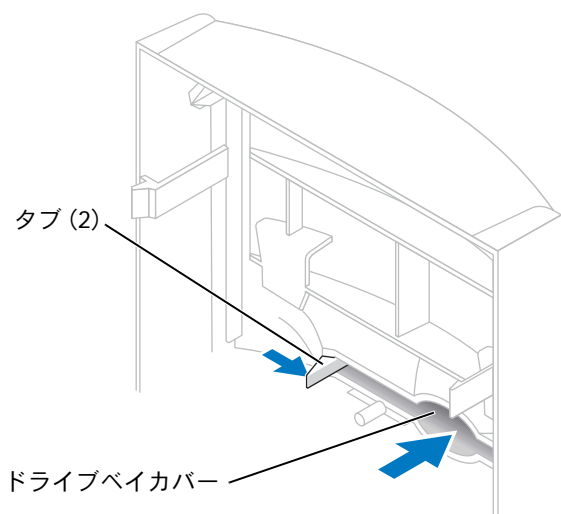
- 5 コンピュータカバーを開きます（71 ページ参照）。

6 正面パネルを取り外します。

- a リリースレバーを押し、上部タブを解除します。
- b コンピュータの内部に手を伸ばして底部タブが解除されるまで自分の方へ押します（中央タブは自動的に外れます）。
- c 正面パネルを開いて側部ヒンジから取り外します。



- 7 2つのインサートタブを押して、ドライブベイカバーを取り外します。




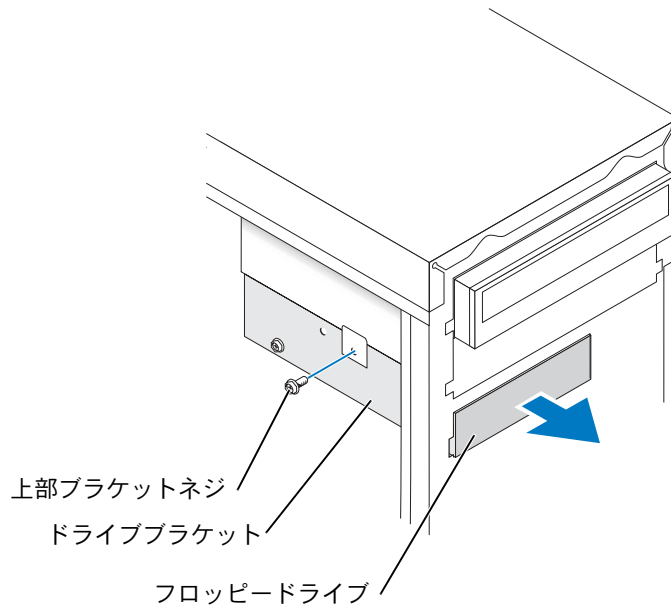
- 8 フロッピードライブの背面に、フロッピードライブ電源ケーブルを接続します。

⚠ 警告: ケーブルの色帯をドライブの1番ピンに合わせます(1番ピンは[1]と印が付いています)。

- 9 データケーブルをドライブの背面とシステム基板のフロッピードライブコネクタに接続します (74 ページ参照)。

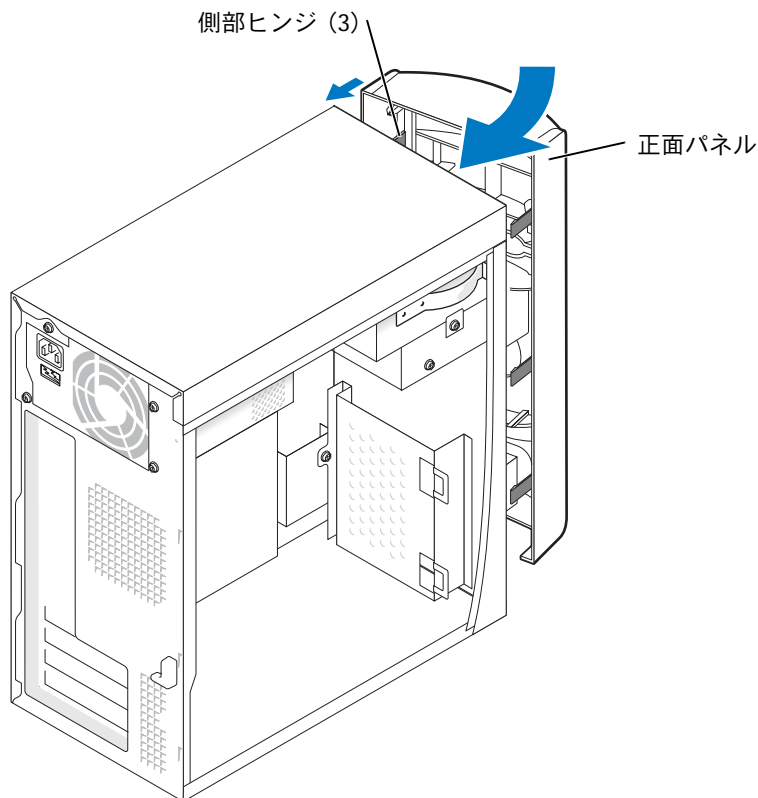
- 10** フロッピードライブブラケットの上部と上段のドライブベイの底部が完全に揃うように置いて、フロッピードライブブラケットを所定の位置にスライドします。

 **メモ:** フロッピードライブブラケットの上部には、上段のドライブベイの底部にある2つのクリップに収まる2つのスロットがあります。フロッピードライブブラケットが正しく装着されると、支えなしで所定の位置に収まります。



- 11** フロッピードライブブラケットをドライブに付属している上部ブラケットネジで固定します。


- 12 正面パネルを側部ヒンジに取り付けなおして、コンピュータ前面にカチッと収まるまで動かします。




- 13 すべてのケーブル接続を確認します。ファンや冷却孔など空気の循環の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。
- 14 コンピュータカバーを取り付けます (91 ページ参照)。
- ➡ 注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 15 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 16 電源を入れた後にプロンプトが表示されたら、<F2> を押してセットアップモードを起動します。
- 17 **Drive Configuration** をハイライト表示して、<Enter> を押します。

- 18 左右矢印キーを使って、**Diskette Drive A** を **Not Installed** から **3.5 inch, 1.44 MB** に変更します。
- 19 <Enter> を押します。
- 20 **Integrated Devices (LegacySelect Options)** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 21 **Diskette Interface** が **Auto** に設定されているか確認します。必要な場合、左右矢印キーを使って **Auto** に設定します。
- 22 <Enter> を押します。
- 23 <Esc> を押します。
- 24 <Enter> を押し、変更を保存して終了します。
コンピュータが再起動します。
- 25 ドライブの動作に必要なソフトウェアのインストール手順については、ドライブに付属しているマニュアルを参照してください。


2 台目の CD / DVD ドライブの追加

 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。


- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします (29 ページ参照)。

 **メモ**：デルが販売するドライブには、固有のソフトウェアとマニュアルが付属しています。ドライブを取り付けた後、ドライブのソフトウェアのインストールおよび使用方法については、付属のマニュアルを参照してください。

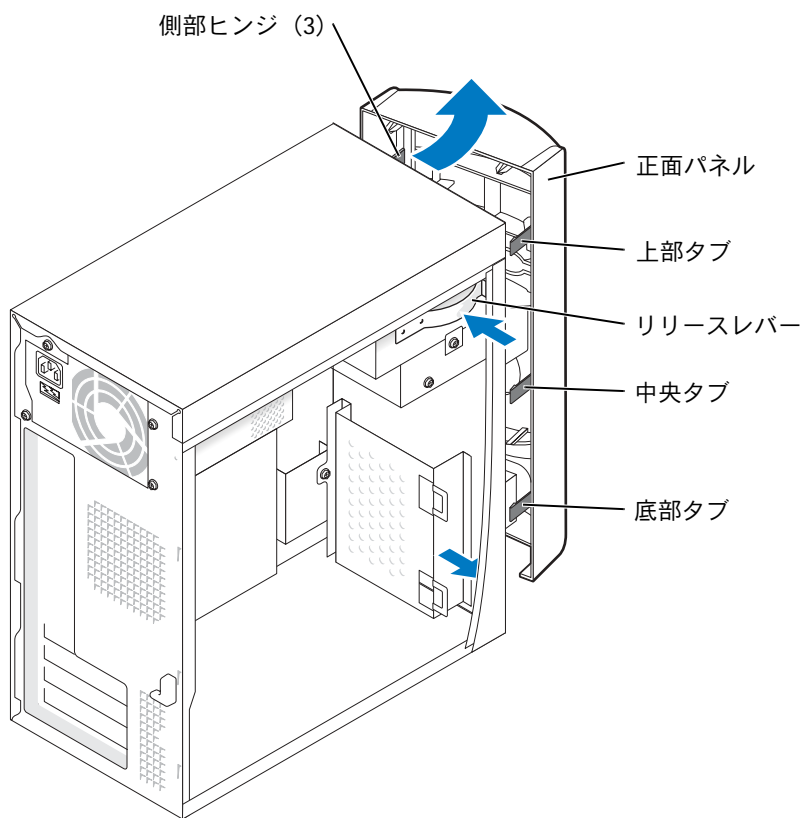
- 2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。

 **注意**：ネットワークケーブルを外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に壁のネットワークジャックから外します。

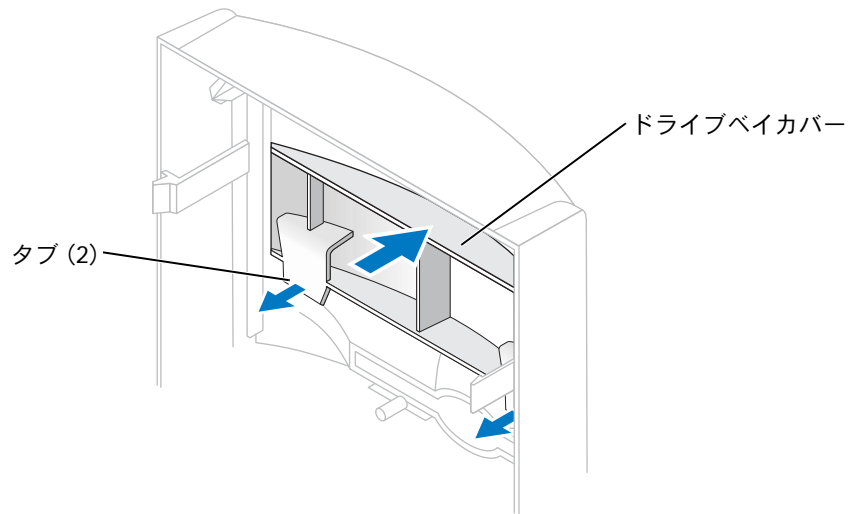
- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから取り外します。
- 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。

 **警告**：感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

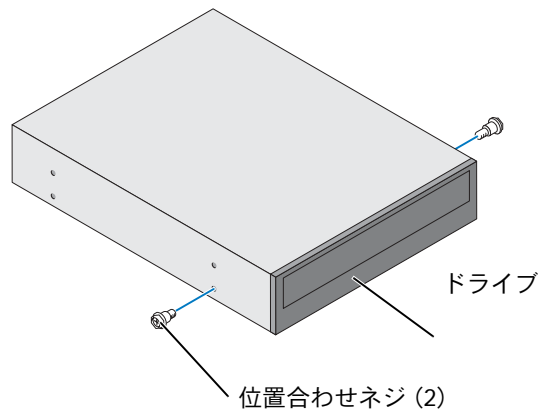
- 5 コンピュータカバーを開きます（71 ページ参照）。
- 6 正面パネルを取り外します。
 - a リリースレバーを押して上部タブを解除します。
 - b コンピュータの内部に手を伸ばし、底部タブが解除されるまで自分の方へ押しします（中央タブは自動的に外れます）。
 - c 正面パネルを開いて、側部ヒンジから取り外します。




- 7 2つの正面パネルタブを自分の方に引いて、ドライブベイカバーを取り外します。

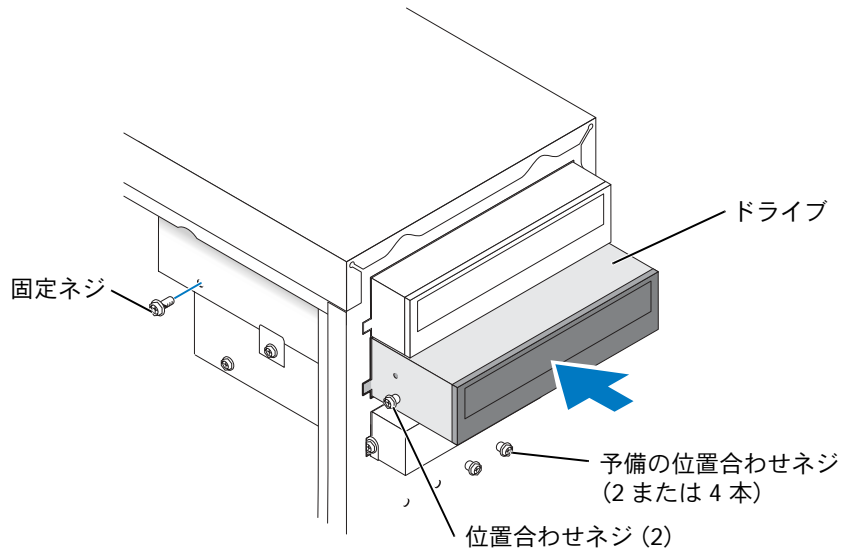


- 8 新しいドライブのジャンパ設定が「cable select」に設定されているか確認します（詳細については、ドライブに付属しているマニュアルを参照）。
- 9 2本の予備の位置合わせネジをコンピュータの前面から取り外して、85ページの図のようにドライブに取り付けます。



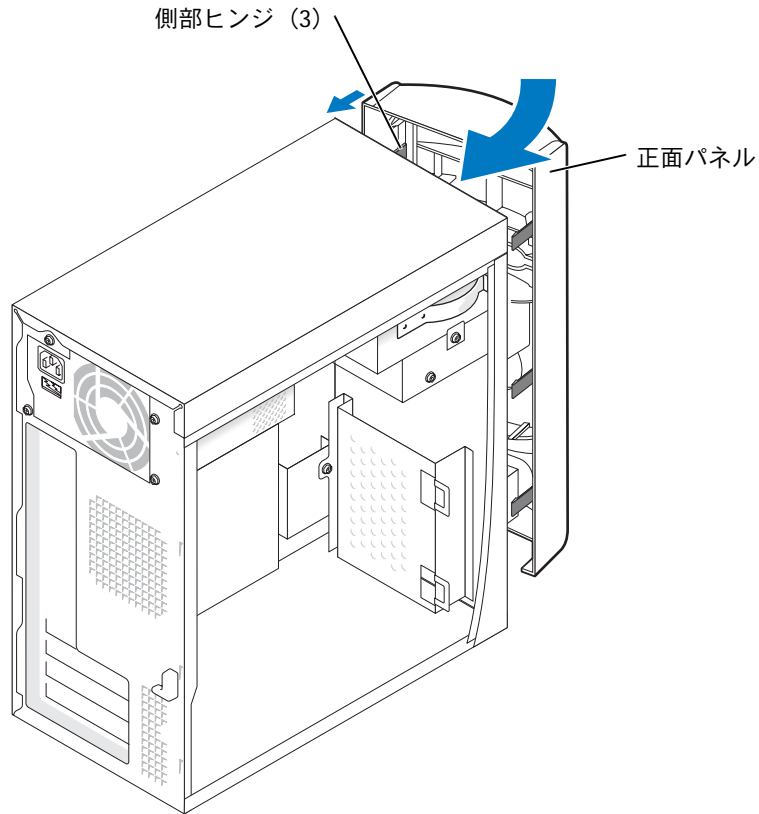
 **メモ：**コンピュータには、2または4本の予備の位置合わせネジが付いています。この手順では、2本の位置合わせネジを使用します。

10 ドライブを所定の位置に慎重にスライドします。



- 11 ドライブが所定の位置に収まったら、ドライブを押して完全に装着されているか確認します。
- 12 ドライブに付属している固定ネジを使って、ドライブをコンピュータに取り付けます。
⚠ 警告: ケーブルの色帯をドライブの1番ピンに合わせます (1番ピンは[1]と印が付いています)。
- 13 電源ケーブルをシステム基板に取り付けます。
- 14 上段のドライブベイの CD / DVD ドライブのデータケーブルを確認して、中間のデータコネクタを新しいドライブに接続します。
- 15 すべてのケーブル接続を確認します。ファンや冷却孔など空気の循環の妨げにならないようにケーブルをまとめておきます。

- 16** 正面パネルを側部ヒンジに取り付けなおして、コンピュータ前面にカチッと収まるまで動かします。



- 17** コンピュータカバーを取り付けます (91 ページ参照)。

ⓘ 注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

- 18** コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

ドライブの動作に必要なソフトウェアのインストール手順については、ドライブに付属しているマニュアルを参照してください。

メモリの増設

システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリのタイプについては、94 ページの「メモリ」を参照してください。

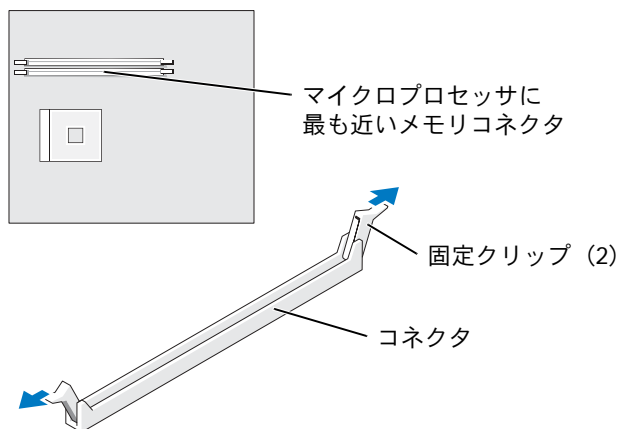
メモリの取り付け

⚠ 警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

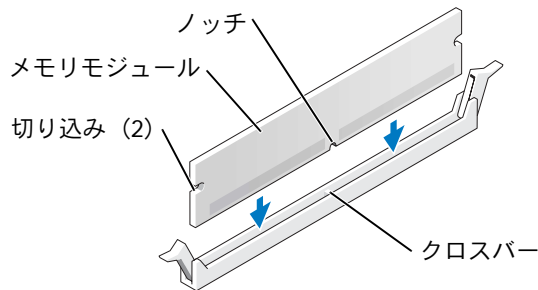
- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします（29 ページ参照）。
 - 2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
- ➡ 注意**：ネットワークケーブルを外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に壁のネットワークジャックから外します。
- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから取り外します。
 - 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。

⚠ 警告：感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 5 コンピュータカバーを開きます（71 ページ参照）。
- 6 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開きます。

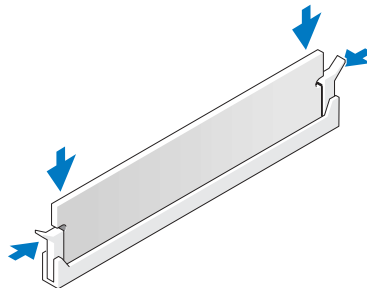


- 7 メモリモジュールの底部にあるノッチとコネクタのクロスバーを合わせます。




- ➡ 注意: メモリモジュールへの損傷を防ぐため、モジュールの両端に均等に力を加えて、モジュールをコネクタに向けてまっすぐ下へ挿入します。


- 8 メモリモジュールをカチッと所定の位置に収まるまで、しっかりと押し込みます。
メモリモジュールが正しく装着されると、固定クリップがカチッとメモリモジュールの両端にある切り込みに収まります。





- 9 コンピュータカバーを取り付けます (91 ページ参照)。
- ➡ 注意: ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 10 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 11 **マイコンピュータ** アイコンを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 12 **全般** タブをクリックします。
- 13 表示されているメモリ (RAM) の容量を見て、メモリが正しく装着されているか確認します。

メモリの取り外し

 警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

 メモ：デルからご購入されたメモリは、お使いのコンピュータの保証の対象になっています。


- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします（29 ページ参照）。
 - 2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
-  注意：ネットワークケーブルを外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に壁のネットワークジャックから外します。
- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから取り外します。
 - 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。

 警告：感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 5 コンピュータカバーを開きます（71 ページ参照）。
- 6 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押して開きます。
- 7 メモリモジュールをつかんで引き上げます。


メモリモジュールが外しにくい場合、モジュールを前後に軽く動かしてコネクタから取り外します。

バッテリーの交換

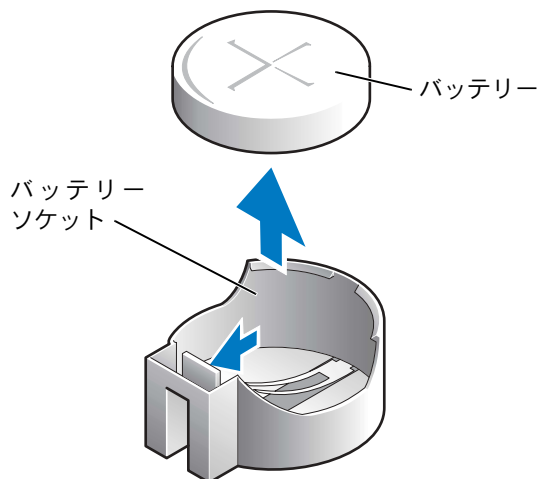
 警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。


コイン型バッテリーは、コンピュータの設定、日付、時刻の情報を保持します。バッテリーの寿命は数年です。

コンピュータを起動後に、何度も時刻と日付の情報を再設定しなければならない場合、バッテリーを交換します。


 警告：バッテリーの取り付け方を誤ると、バッテリーが破裂する恐れがあります。3 V CR2032 バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのもので交換してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

- 1 セットアップユーティリティのすべての画面を記録します（98 ページ参照）。これにより、手順 11 で正しい設定に復元することができます。
 - 2 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします（29 ページ参照）。
 - 3 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
- ➡ 注意：ネットワークケーブルを外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に壁のネットワークジャックから外します。
- 4 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから取り外します。
 - 5 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。
- ⚠ 警告：感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 6 コンピュータカバーを開きます（71 ページ参照）。
 - 7 バッテリーソケットの位置を確認します（74 ページ参照）。
 - 8 プラスチック製のスクロイドライバなどのように先端部の鋭くない非導電性の道具、または指を使ってバッテリーをバッテリーソケットから取り外します。
- ➡ 注意：バッテリーを取り出す際にシステム基板への損傷を防ぐため、プラスチック製のプラスドライバはバッテリーとシステム基板の間ではなく、バッテリーとソケットの間に挿入してください。



- 9 バッテリーの「+」側を上に向けて新しいバッテリーをソケットに挿入し、バッテリーを所定の場所にカチッとはめ込みます。
-  注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 10 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 11 セットアップユーティリティを起動して（98 ページ参照）、手順 1 で記録した設定に戻します。
- 12 取り外したバッテリーは適切な方法で処分します（12 ページ参照）。

コンピュータカバーの取り付け

- 1 すべてのケーブルが接続されているか確認し、ケーブルをまとめておきます。
- 2 コンピュータ内部にツールや余分な部品が残っていないか確認します。
- 3 カバーをコンピュータの上に置きます。
- 4 カバーが所定の位置に完全に収まるまで、カバーをコンピュータの前面にスライドします。
-  注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 5 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

付録

仕様

マイクロプロセッサ

マイクロプロセッサのタイプ	Intel® Pentium® 4 または Celeron®
L1 キャッシュ	8 KB 1 レベル (Pentium 4 および Celeron)
L2 キャッシュ	256 KB または 512 KB (セットアップユーティリティで表示) パイプラインバースト、8 ウェイセットアソシエィティブ、ライトバック SRAM (Pentium 4) プロセッサコア上の 128 KB SRAM。L2 キャッシュはプロセッサ内蔵クロックスピードで実行します (Celeron)。

システム情報

システムチップセット	Intel 845GV
DMA チャンネル	8
割り込みレベル	24 APIC モード
システム BIOS チップ	4 Mb (512 KB)
システムクロック	400 または 533 MHz データ転送速度

拡張バス

バスタイプ	PCI
バススピード	PCI : 33 MHz
PCI コネクタ	3
PCI コネクタサイズ	120 ピン
PCI コネクタデータ幅 (最大)	32 ビット

メモリ

アーキテクチャ	DDR S DRAM
メモリコネクタ	2
メモリ容量	128、256、または 512 MB
最小メモリ	128 MB (DDR SDRAM と共有) <u>メモ：システムメモリサイズとその他の要素によって、グラフィックサポート用に 32 MB ~ 64 MB のシステムメモリを割り当てることができます。</u>
最大メモリ	1 GB
メモリのタイプ	PC2100 (266 MHz) または PC2700 (333 MHz) DDR SDRAM (非 ECC)

ドライブ

フロントドライブベイ	5.25 インチベイ × 2 3.5 インチベイ × 1
内蔵ベイ	1 インチ高 IDE ハードドライブ用ベイ × 1

ポートとコネクタ

外部アクセス用：

シリアル	9 ピンコネクタ、16550C 互換
パラレル	双方向 25 ピンコネクタ (メス)
ビデオ	15 ピンコネクタ (メス)
キーボード	6 ピンミニ DIN コネクタ
マウス	6 ピンミニ DIN コネクタ
USB	USB 2.0 準拠コネクタ (正面パネルに 2 つと背面パネルに 4 つ)
ネットワーク	RJ-45 コネクタ
オーディオ	背面ミニコネクタ × 3 (ライン入力、ライン出力、およびマイク用)
ヘッドフォン	ライン出力用正面パネルミニコネクタ

ポートとコネクタ (続き)

内部アクセス用：

プライマリ IDE チャンネル	PCI ローカルバスに 40 ピンコネクタ
セカンド IDE チャンネル	PCI ローカルバスに 40 ピンコネクタ
フロッピードライブ (オプション)	34 ピンコネクタ

ビデオ

ビデオコントローラ	内蔵 Intel 3D Extreme グラフィック
-----------	----------------------------

ビデオ

オーディオコントローラ	内蔵オーディオ
-------------	---------

ネットワーク

ネットワークコントローラ	内蔵 10/100 Ethernet
--------------	--------------------

ボタンとライト

電源ボタン	押しボタン
正面パネル電源ライト	電源がオンのとき緑色に点灯、スタンバイ状態のとき緑色に点滅、橙色 (41 ページを参照)
ハードドライブライト	緑色

電源

DC 電源装置：

電力	200 W または 250 W
熱消費	682 または 853 BTU (モニターなし、コンピュータフル装備の場合)
電圧 (電圧設定に関する重要な情報については、10 ページを参照)	60 Hz で 100 ~ 120 V、50 Hz で 200 ~ 240 V
バックアップバッテリー	3 V CR2032 コイン型バッテリー

サイズ

高さ × 幅 × 奥行	36.8 × 18.4 × 42.6 cm
重量	10.4 kg

環境

温度：

動作時 10° ~ 35° C
メモ：35 °C で最大動作高度は 914 m

保管時 - 40° C ~ 65° C

相対湿度 20 % ~ 80 % (結露しないこと)

最大振動：

動作時 3 ~ 200 Hz で 0.25 G

保管時 10 ~ 500 Hz で 2.20 Grms

最大衝撃：

非動作時 (ハーフサインパルス) 105 G、2 ミリ秒

非動作時 596.9 cm / 秒の速度変化で 32 G

(フェアードスクエアウェーブ)

高度：

動作時 - 15.2 ~ 3,048 m

メモ：35 °C で最大動作高度は 914 m

保管時 - 15.2 ~ 10,670 m

標準設定

セットアップユーティリティには、コンピュータの標準設定が含まれています。

- ⓘ 注意：コンピュータに関する知識が十分でない場合、このプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

次の図はセットアップユーティリティのメイン画面の一例です。

Dell - Dimension 2400			
Intel® Pentium® 4 Processor: <i>xxx</i> GHz		BIOS Version: <i>xxx</i>	
Level 2 Cache: <i>xxx</i> KB Integrated		Service Tag: <i>xxxxxx</i>	
System Time00:00:00			
System DateDAY/MO/DATE/YR			
Drive Configuration<Enter>			
Boot Sequence<Enter>			
Memory Information<Enter>			
CPU Information<Enter>			
Integrated Devices (LegacySelect Options)<Enter>			
Power Management<Enter>			
System Security<Enter>			
Keyboard NumLockOn			
Report Keyboard ErrorsReport			
Auto Power OnDisabled			
Fast BootOn			
OS Install ModeOff			
IDE Hard Drive Acoustics ModeBypass			
System Event Log<Enter>			
Asset TagXXXXXX			
↓↑ to select	SPACE, +, - to change	ESC to exit	F1 = Help

設定の表示

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 青色の DELL™ のロゴの画面が表示されたら、すぐに <F2> を押します。

ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして再度試みます。

セットアップユーティリティ画面

セットアップユーティリティ画面は、以下のような構成になっています。

- 上部のメニューバーから、メインプログラム画面にアクセスできます。
 - **Main** では、基本的なコンピュータ構成を設定します。
 - **Advanced** では、一部のコンピュータ機能の詳細設定をおこないます。
 - **Security** では、ユーザーパスワードおよびセットアップパスワードの指定と設定をおこないます。
 - **Power** では、システムの電源管理機能を設定します。
 - **Boot** では、コンピュータの起動に関する情報を表示します。
 - **Exit** では、プログラム設定の保存 / 読み込みの選択をおこないます。
- 画面の左側には、コンピュータに取り付けられているハードウェアの構成オプションと設定の一覧が表示されます。

括弧で囲まれた設定は変更できますが、淡色表示されているものは変更できません。矢印 (>) の付いているオプションにはサブメニューがあります。

- 画面右上には、ハイライト表示されたオプションのヘルプ情報が表示されます。
- 画面右下には、表示されている画面でのキーとその機能を一覧表示します。

Boot Sequence (起動順序)


この機能を使って、デバイスの起動順序を変更します。

現在の起動用の起動順序の変更

この機能を使って、たとえば、『ResourceCD』にある Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行するよう、CD ドライブからコンピュータを起動するように設定できます。ただし、Dell Diagnostics (診断) プログラムが完了したら、コンピュータはハードドライブから起動するよう指定する必要があります。


- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 画面右上隅に F2 = Setup, F12 = Boot Menu が表示された場合、<F12> を押します。
ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして（29 ページ参照）、再度試みます。
利用可能なすべての起動デバイスが **Boot Device Menu** の一覧に表示されます。各デバイス名の横に番号が付いています。
- 3 メニューの一番下で、現在の起動のみに使用されているデバイスの番号を入力します。

将来の起動用の起動順序の変更


- 1 セットアップユーティリティを起動します（97 ページ参照）。
 - 2 矢印キーを使って **Boot Sequence** メニューオプションをハイライト表示し、<Enter> を押して、ポップアップメニューにアクセスします。
-  **メモ**：後で元に戻すことができるよう、現在の起動順序を控えておいてください。
- 3 上下矢印キーを押して、デバイスの一覧内を移動します。
 - 4 スペースバーを押して、デバイスを有効または無効にします（有効になっているデバイスにはチェックマークが付いています）。

プラス（+）またはマイナス（-）を押して、選択したデバイスを一覧の上または下に移動します。

パスワードを忘れたら

 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

スーパーバイザパスワードまたはセットアップパスワードを忘れた場合、忘れたパスワードを消去するまで、コンピュータの操作やセットアップユーティリティの設定を変更できません。

- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします（29 ページ参照）。
 - 2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
-  **注意**：ネットワークケーブルを外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

- 3 電話回線および通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
- 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。



警告：感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 5 コンピュータカバーを開きます（71 ページ参照）。
- ➡ 注意：コンピュータの内部に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れて、静電気による内部コンポーネントの損傷を防止します。
- 6 システム基板の2ピンパスワードジャンパ（74 ページ参照）の位置を確認して、ジャンパを両方のピンから外します。

コンピュータがお手元に届いたときは、ジャンパには両方のピンが被さっています。

- 7 コンピュータカバーを取り付けます（91 ページ参照）。
- 8 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 9 <F1> を押して続行するように指示された場合は、<F1> を押します。
- 10 Microsoft Windows デスクトップがコンピュータに表示されたら、コンピュータをシャットダウンします（29 ページ参照）。
- ➡ 注意：ネットワークケーブルを外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に壁のネットワークジャックから外します。
- 11 取り付けられているすべてのデバイスの電源を切って、コンセントから抜きます。
- 12 電源ケーブルをコンピュータから外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。
- 13 コンピュータカバーを取り外します（71 ページ参照）。
- 14 パスワードジャンパを外します。
ジャンパを1つのピンにのみ取り付けて、ジャンパをなくさないようにします。
- 15 コンピュータカバーを取り付けます（91 ページ参照）。
- ➡ 注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 16 コンピュータおよびデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 17 <F1> を押して続行するように指示された場合は、<F1> を押します。

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- www.dell.com/jp
- support.jp.dell.com (テクニカルサポート)

メモ：フリーコールは、サービスを提供している国内でのみご利用になれます。

デルへお問い合わせになる場合、次の表の E メールアドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。

国 (市) 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
日本 (川崎) 国際電話アクセスコード：001 国番号：81 市外局番：44	ウェブサイト： support.jp.dell.com テクニカルサポート (Dimension™ および Inspiron™) フリーコール：0120-198-226 テクニカルサポート (海外から) (Dimension および Inspiron) FAX 情報サービス 24 時間納期案内電話サービス カスタマーケア ビジネスセールス本部 (従業員数 400 人未満) 法人営業本部 (従業員数 400 人以上) エンタープライズ営業本部 (従業員数 3500 人以上) 官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス デルグローバルジャパン 個人のお客様 代表	81-44-520-1435 044-556-3490 044-556-3801 044-556-4240 044-556-1465 044-556-3433 044-556-3430 044-556-1469 044-556-3469 044-556-1760 044-556-4300

認可機関の情報

EMI（電磁波障害）とは、自由空間に放射されたり、電源コードや信号線に伝導する信号あるいは放射電磁波のことで、無線航法やその他の安全対策業務を危険にさらしたり、認可された無線通信サービスの著しい品位低下、妨害、あるいは度重なる中断を発生させます。無線通信サービスには、AM / FM の商業放送、テレビ、および携帯電話の各種サービス、レーダー、航空交通管制、ポケットベル、PCS（Personal Communication Services）などがありますが、これらに限定されません。これらの認可サービスは、コンピュータシステムを含む電波放射を目的としないデジタル装置と同じく、電磁環境に影響を与えます。

EMC（電磁的両立性）とは、多数の電子機器が同一の環境で共に正常に動作する能力のことです。本コンピュータシステムは、認可機関のEMIに関する制限に準拠する設計がなされており、適合していますが、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。この装置が無線通信サービスに対して干渉するかどうかはその装置の電源をオン / オフにすることによって判定できますので、以下の方法を1つ、またはそれ以上実施して問題を解決してください。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に対してコンピュータを再配置してください。
- 受信機からコンピュータを遠ざけてください。
- コンピュータを別のコンセントにつないで、コンピュータと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

さらに詳しいことは、デルのテクニカルサポート担当者または、ラジオ / テレビの専門家にご相談してください。

デル製品の保証および返品について

『サービス&サポートのご案内』を参照してください。

索引

B

BIOS 97

C

CD 26

CD ドライブ

問題の解決 32

追加 82

CD のコピー

一般的な情報 26

コピーの方法 26

役に立つヒント 27

CD-RW ドライブ

問題の解決 32

D

Dell Diagnostics (診断)

プログラム 53

DVD 26

DVD のコピー

一般的な情報 26

コピーの方法 26

役に立つヒント 27

E

ESD

コンピュータの保護 11

I

IEEE 1394

問題の解決 36

IRQ コンフリクト 61

M

Microsoft ライセンス

ラベル 14

R

ResourceCD 58

Dell Diagnostics (診断)

プログラム 53

U

USB デバイスからの起動 28

W

Windows XP

再インストール 62

システムの復元 59

スキャナー 44

デバイスドライバのロール

バック 58

ハイパースレッディング 28

プログラム互換性

ウィザード 38

ヘルプとサポート

センター 15

ヘルプへのアクセス 14

あ

安全にお使いいただくために 9

インターネット接続

オプション 24

概要 24

セットアップ 25

ウィザード

プログラム互換性

ウィザード 38

익스프레스

サービスコード 14

エラーメッセージ 34

診断ライト 49

オペレーティングシステム

CD 15

Windows XP の

再インストール 62

インストールガイド 15

音量

調節 44

か

画面 モニター参照

キーボード

問題の解決 36

起動

起動順序の変更 98

コンピュータ

以前の状態に復元する 59

壊れた場合 37, 38

正面図 67

背面図 69

反応が停止した場合 37

コンピュータカバー

取り付け 91

取り外し 71

コンピュータの電源を切る 29

コンピュータをシャットダウンする 29

コンフリクト

ソフトウェアとハードウェア
の非互換性の解決 61

さ

再インストール

Windows XP 62

サポート

デルへのお問い合わせ 101

システムの復元 59

診断

デル 53

ライト 49

診断ライト 49

スキャナー

問題の解決 43

静電気放出 ESD を参照

設定

セットアップユーティリ
ティ 97

セットアップ図 14

セットアップユーティリ

ティ 97

ソフトウェア

ハイパースレッディング 28

問題の解決 37, 38

た

チェックディスク 33

ディスプレイ モニター参照

デル

お問い合わせ 101

デルサポートサイト 15

電圧切り替えスイッチ 70

電源

コンピュータの電源を
切る 29

問題の解決 41

電源ライト

状況 41

ドライバ 56

概要 56

確認 57

ドライブ

問題の解決 31

トラブルシューティング

Dell Diagnostics (診断)
プログラム 53

以前の状態に復元する 59

コンフリクト 61

診断ライト 49

ヘルプとサポート
センター 15

は

ハードウェア 61

Dell Diagnostics (診断)
プログラム 53

ハードドライブ

問題の解決 33

ハイパースレッディング 28

パスワード
パスワードを忘れたら 99

バッテリー
問題の解決 31
交換 89

ビデオ
問題の解決 46

ファイルと設定の
転送ウィザード 21

プリンタ
USB 20
ケーブル 18
接続 18
セットアップ 18
パラレル 18
問題の解決 42

プログラム互換性
ウィザード 38

ヘルプとサポートセンター 15

ヘルプファイル 14

保証 102

ま

マニュアル 13
オーナーズマニュアル 13
オンライン 15
調べる 13
セットアップ図 14
ヘルプファイル 14

メッセージ
エラー 34

モニター
画面が見つからない場合 47
何も表示されない場合 46
問題の解決 46

問題の解決

CDドライブ 32
CD-RWドライブ 32
Dell Diagnostics (診断)
プログラム 53
IEEE 1394 36
以前の状態に復元する 59
一般的な問題 37
エラーメッセージ 34
音量の調節 44
画面が青一色になった
場合 38
画面が見つからない場合 47
画面に何も表示されない
場合 46
キーボード 36
コンピュータが壊れた
場合 37, 38
コンピュータの反応が停止
した場合 37
診断ライト 49
スキャナー 43
ソフトウェア 37, 38
電源 41
電源ライトの状況 41
ドライブ 31
ハードドライブ 33

バッテリー 31
ビデオとモニター 46
プリンタ 42
プログラムが壊れた場合 37
プログラムと Windows の
互換性 38
プログラムの反応が停止
した場合 37

ら

ライト
コンピュータの背面 49
診断 49

